

令和6年

自治会活動・自治会運営に関する調査結果

令和6年11月



目次

調査概要	1-2
調査結果	
I. 自治会の情報について	3
① 現在の会長の年齢について	3
② 会長／役員の任期について	3-4
③ 自治会の会費の徴収頻度と年会費について	4-5
④ 会長／役員の選出方法について	5-6
⑤ 会長／役員の報酬について	6-7
⑥ 会長／役員の選出が円滑に行われているかについて	8-9
⑦ 会長／役員の任における負担について	9
⑧ 会長／役員の任の負担軽減の為に工夫していることについて	10
⑨ 自治会の総会の開催月について	10
⑩ 役員会等の会議の頻度と平均出席人数について	11
⑪ 総会や役員会等の会議の開催場所について	12
II. 自治会の活動について	13
⑫ 自治会内で実施している活動について	13
⑬ 自治会活動への参加者を増やすために工夫していることについて	14
III. 自治会の加入について	15
⑭ 自治会未加入世帯の加入を促す際に工夫していることについて	15
⑮ 自治会長が考える自治会に加入するメリットや加入したいと思える魅力的な活動について	16-17
IV. 自治会の所有する施設について	18
⑯ 集会施設の所有について	18
⑰ 集会施設の所有意思について	18
⑱ 防災倉庫の所有について	19
V. 自治会の運営について	20
⑲ 自治会会員名簿の管理について	20
⑳ 繰越金の使用用途について	21
㉑ 市から自治会に対して望む支援について	22
VI. 自治会運営のデジタル化について	23
㉒ 自治会内でのデジタル化の取組について	23
㉓㉔自治会内で使用しているデジタルツール・アプリや費用、導入に至る経緯について	24
㉕ デジタル化を図って良かったこと・困ったことについて	25
㉖ デジタルツール導入後の管理・運営について	25
㉗ 電子回覧やインターネット会議導入の検討状況について	26
㉘ 自治会運営デジタル化への課題について	27
㉙ コミュニティ推進課の HP における自治会回覧物 PDF データ掲載の認知度について	27
VII. 最後に	28
㉚ 自治会運営の困りごとについて	28

自治会活動・自治会運営に関する調査概要

1) 目 的

市内各地域における自治会活動をより一層活性化していくために

①各自治会における今後の自治会活動・自治会運営の参考とする

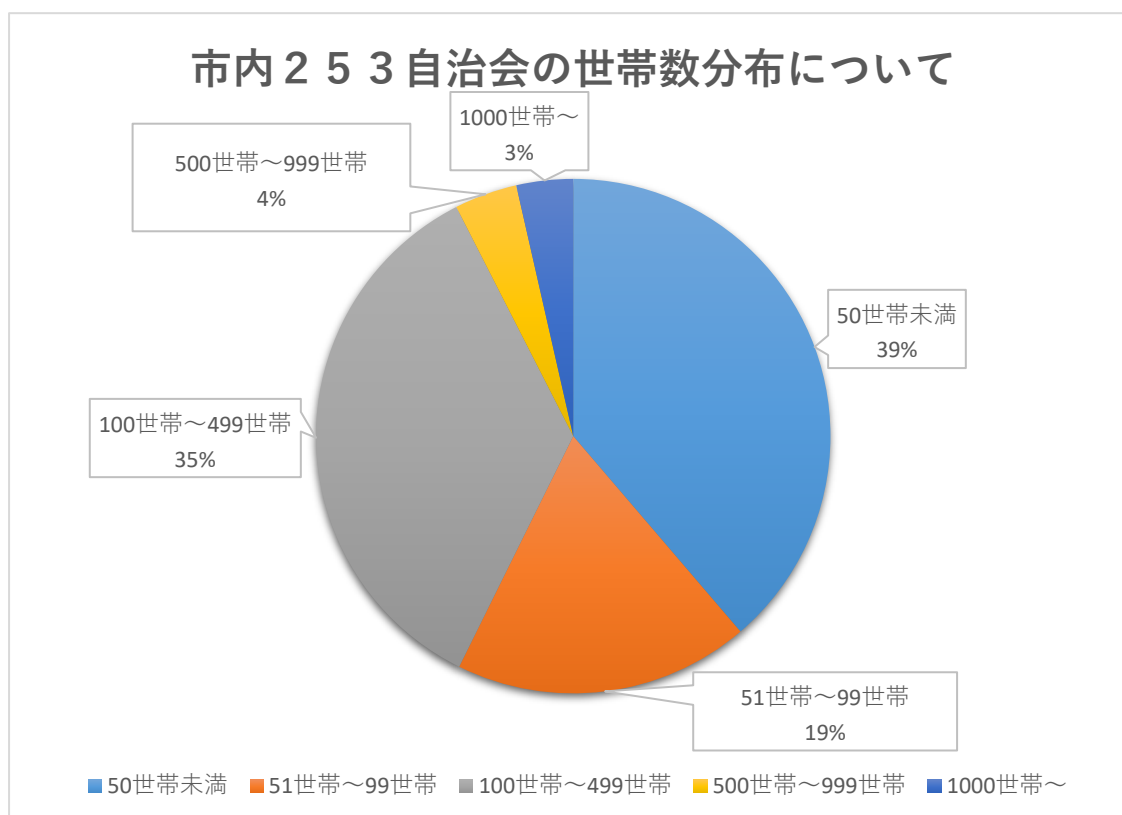
②国全体でデジタル化を推進していく動きがある中で，八千代市における自治会が
どれほどデジタル媒体を利用しているか把握する

③八千代市における今後の自治会支援を考察する

ことを目的として実施した調査です。

2) 対 象

市内全 2 5 3 自治会



3) 方 法

郵送による調査票の配布と回収，ちば電子申請サービスを利用した配布と回収

4) 時 期

令和6年2月8日（木）～令和6年3月8日（金）

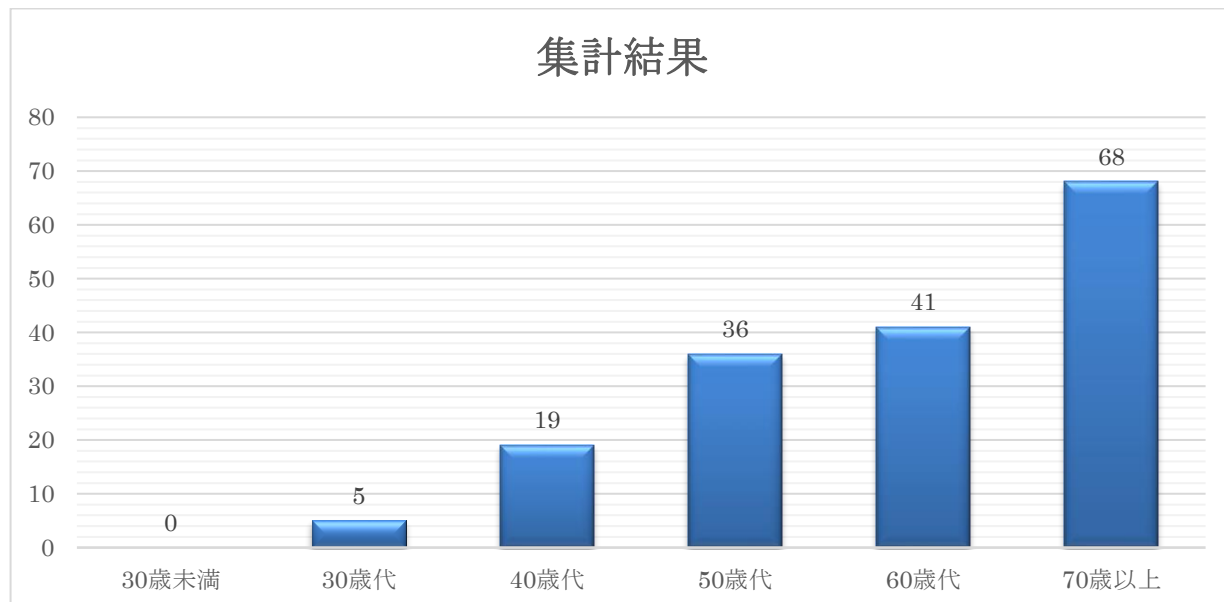
5) 回収率

67%（169自治会）

自治会活動・自治会運営に関する調査結果

I. 自治会の情報について

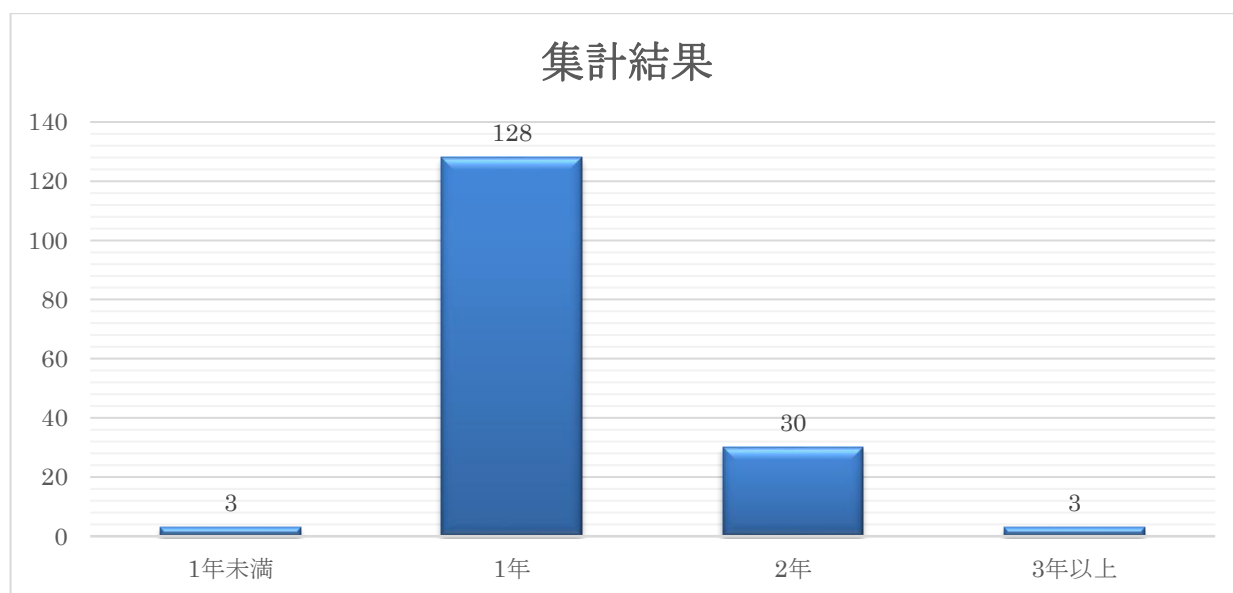
① 現在の会長の年齢を教えてください。



現在の会長の年齢は、「60歳代」以上が全体の約6割以上を占める結果となりました。

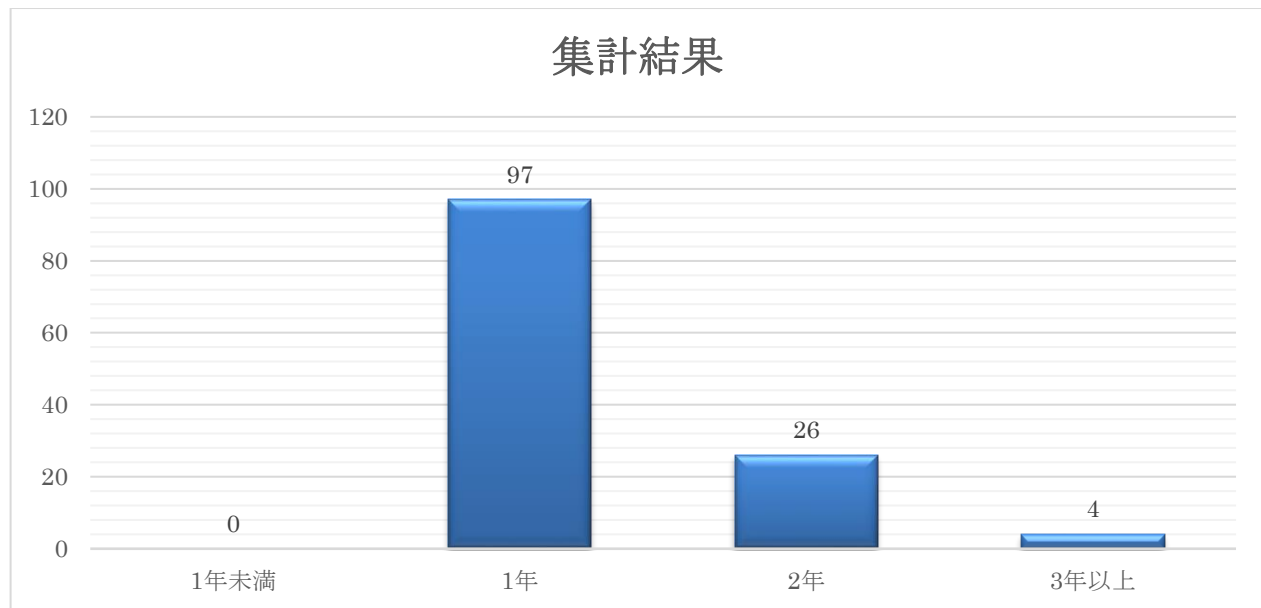
② 会長／役員の任期は、規約では何年ですか。

<会長>



会長の任期は、全体の7割以上の自治会が「1年」で交代という結果となりました。

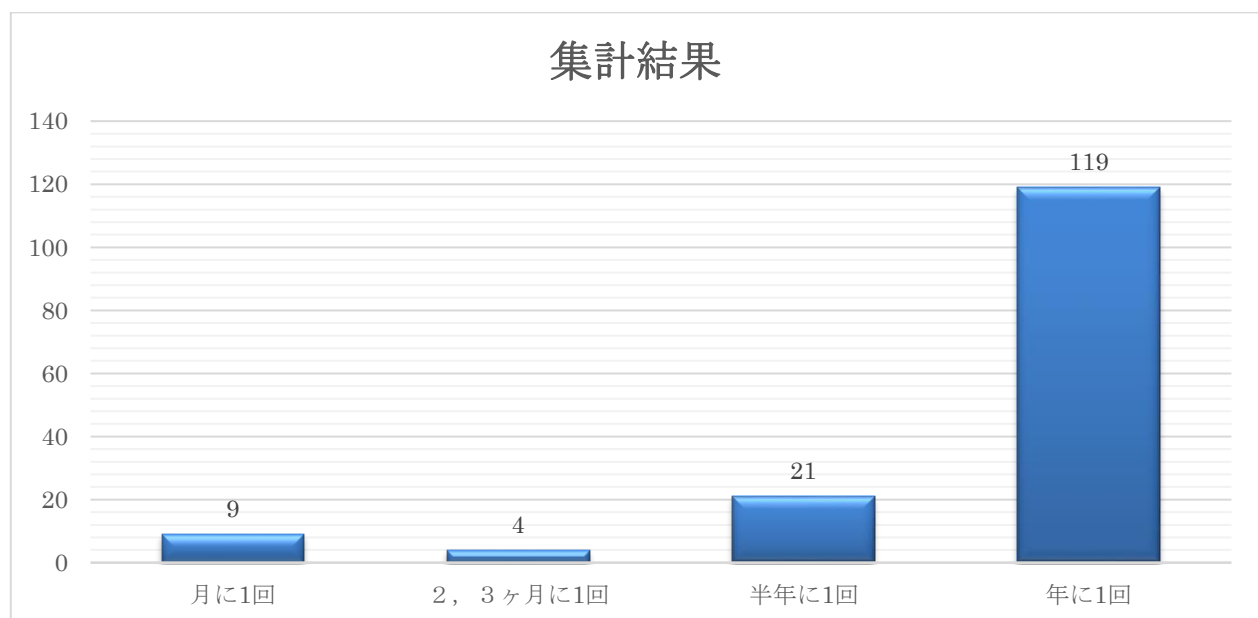
<役員>



役員の任期については、会長の任期と同様、全体の7割以上の自治会が「1年」で交代という結果となりました。

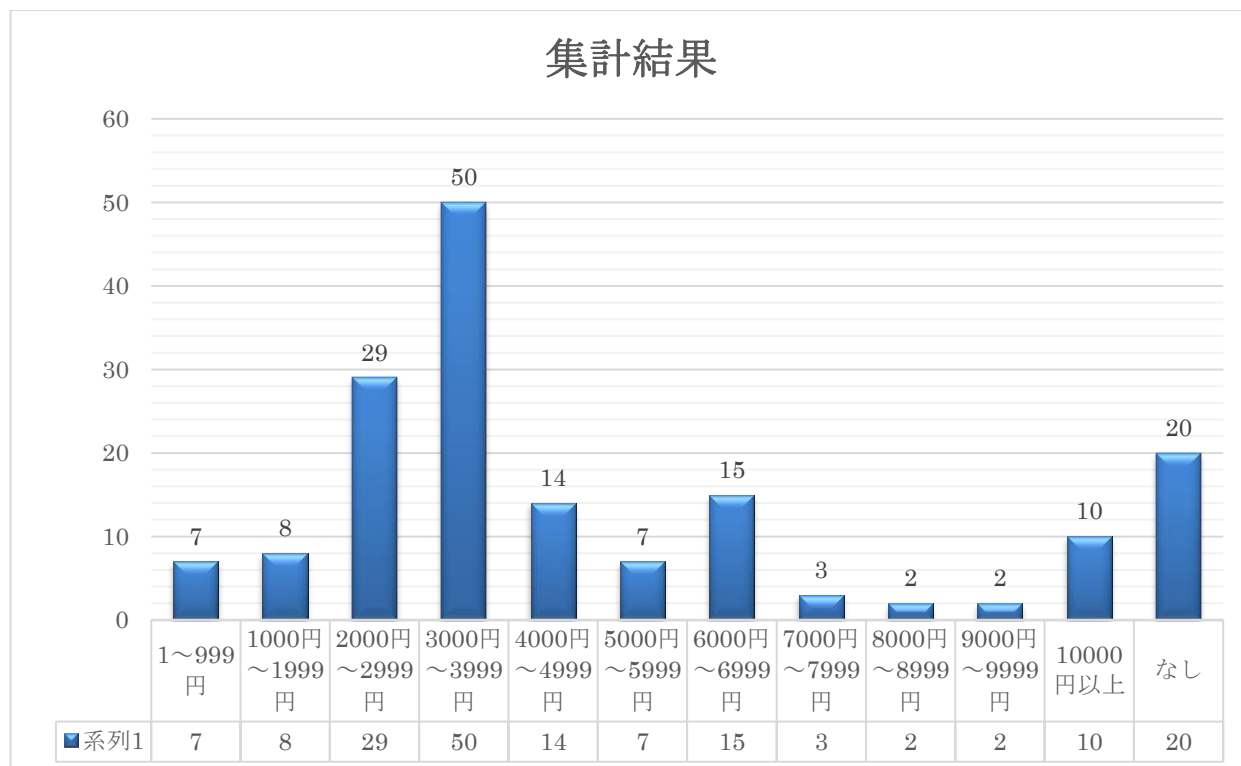
③自治会の会費の徴収頻度で最も近いもの、および、年会費を教えてください。

<徴収頻度>



自治会費の徴収頻度は、「年に1回」という自治会が全体の7割以上を占める結果となりました。

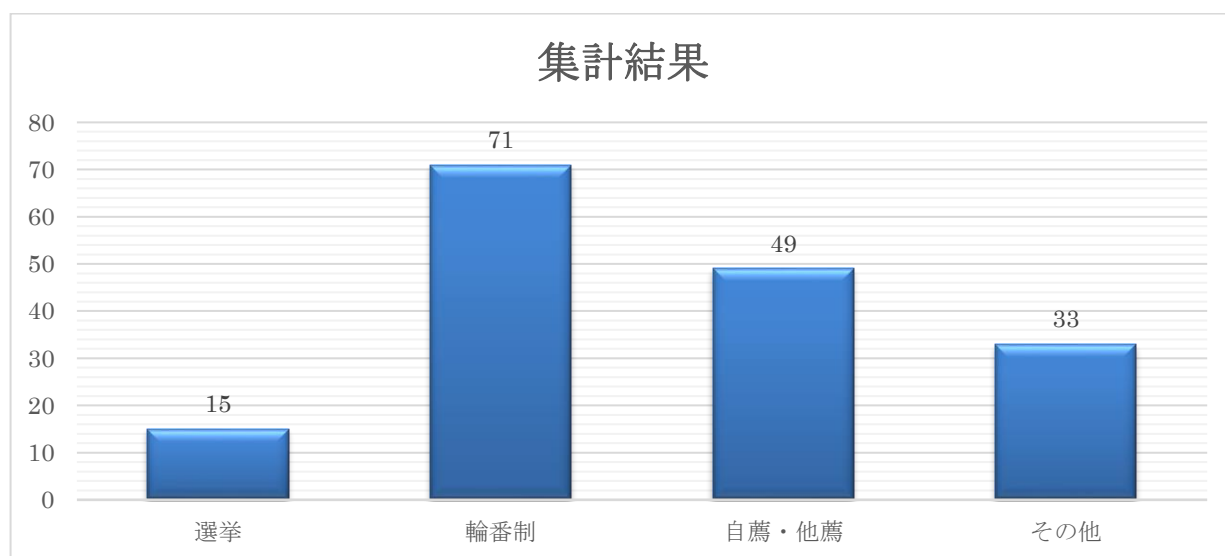
<徴収金額>



自治会費については、全体の約3割の自治会が「3,000 円～3,999 円」という結果となりました。約1割の自治会については、「会費徴収をせず」に自治会運営を行っており、会の規模や活動目的によって会費も様々であるという結果となりました。

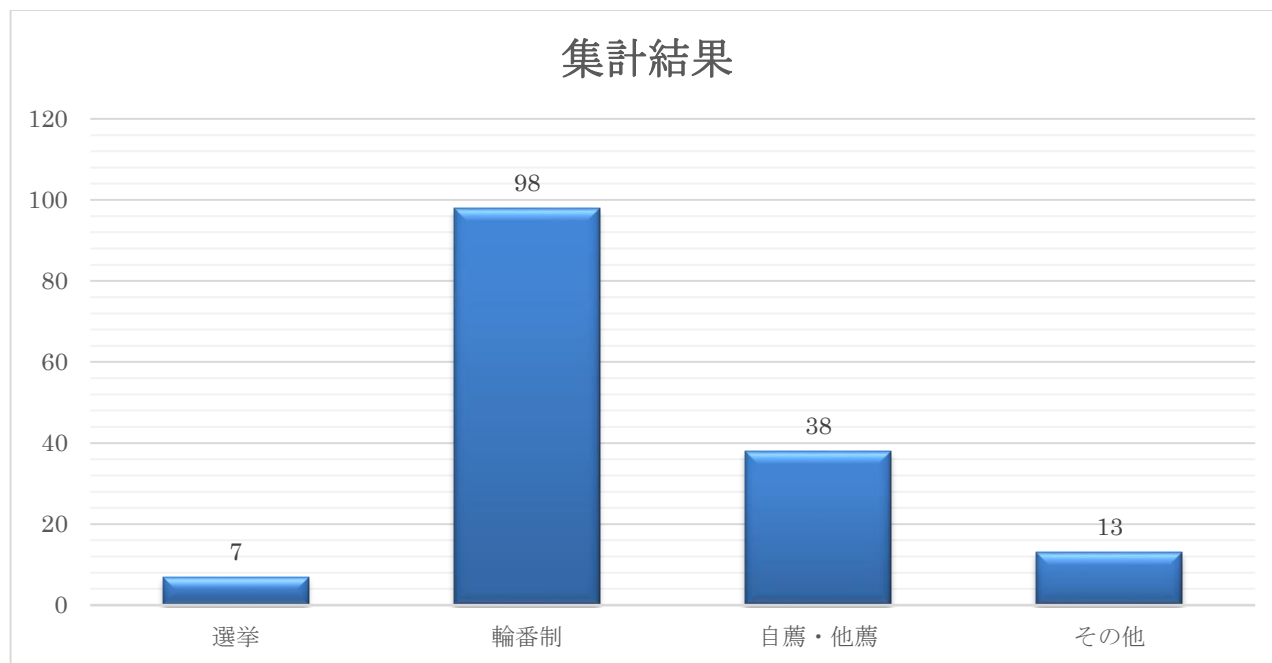
④会長／役員の選出方法は次のうちどれですか。（それぞれ1つだけ回答）

<会長>



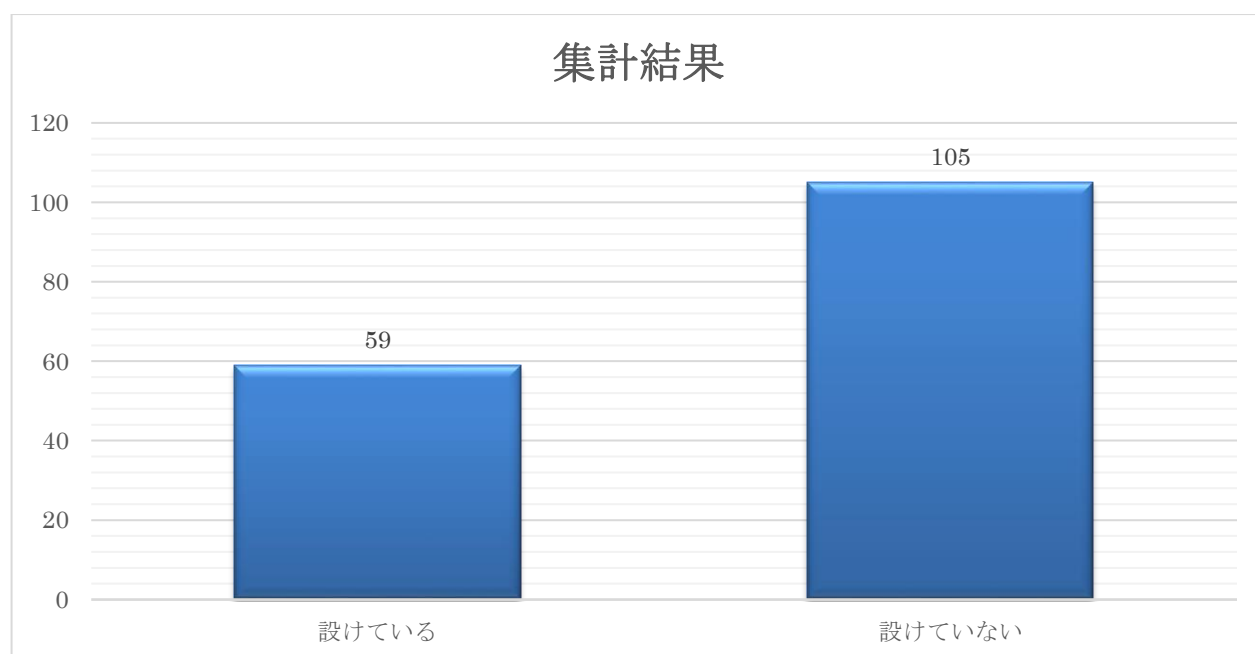
会長の選出方法については、全体の約4割の自治会が「輪番制」という結果となりました。その他としては、「くじ引き」や「じゃんけん」、「話し合い」、「年齢順」等という意見がありました。

<役員>



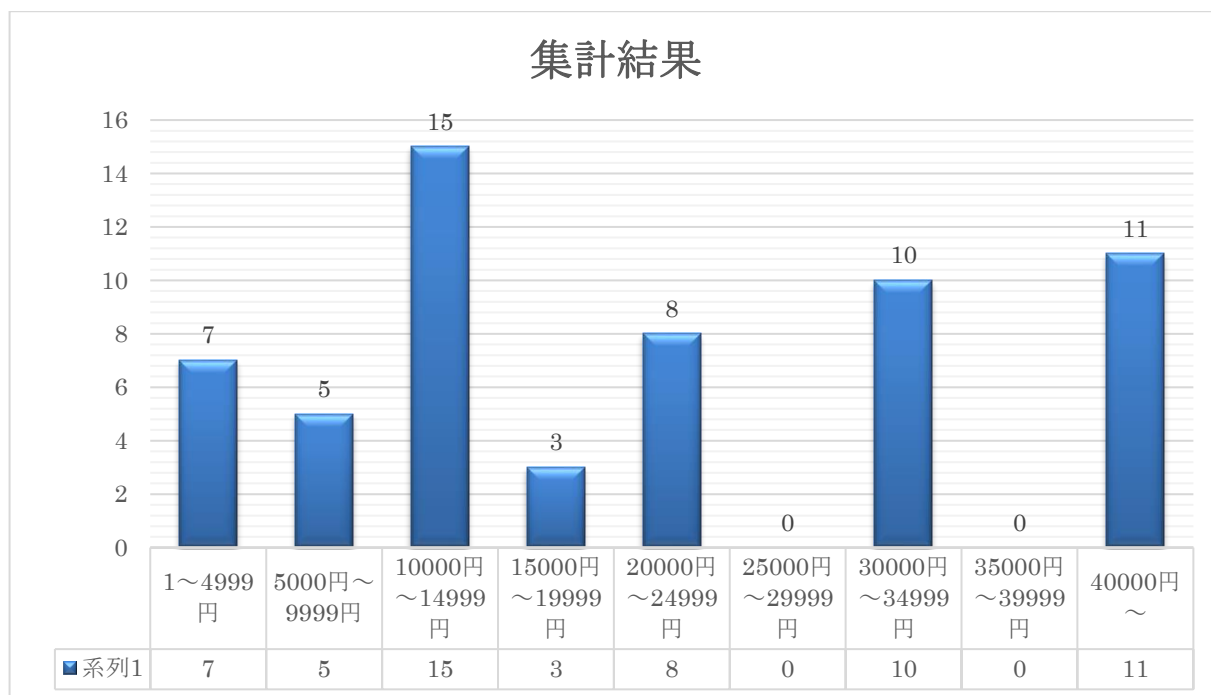
役員の選出方法については、全体の約6割の自治会が「輪番制」という結果となりました。その他としては、会長の選出方法と同じく、「くじ引き」や「じゃんけん」、「年齢順」等という意見がありました。

⑤会長／役員の報酬を設けていますか。また、設けている場合は支出額を教えてください。



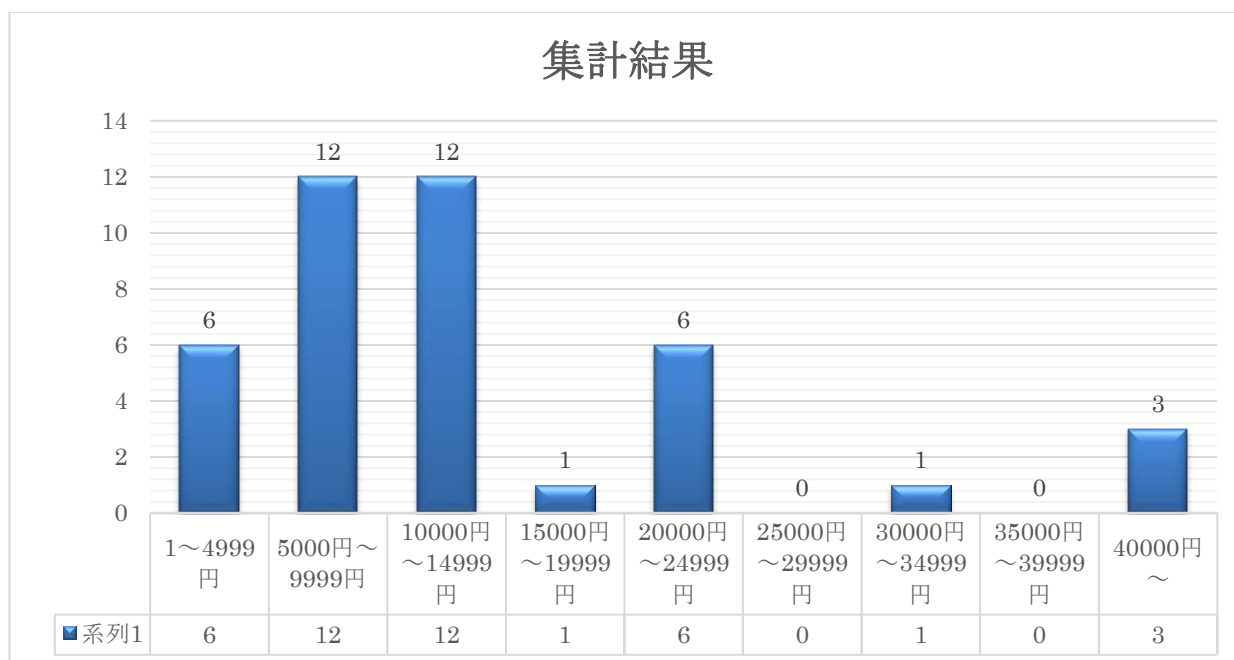
会長／役員の報酬を「設けている」と回答した自治会は、全体の約4割という結果となり、報酬は「設けていない」と回答した自治会の方が多いという結果となりました。

<会長報酬額>



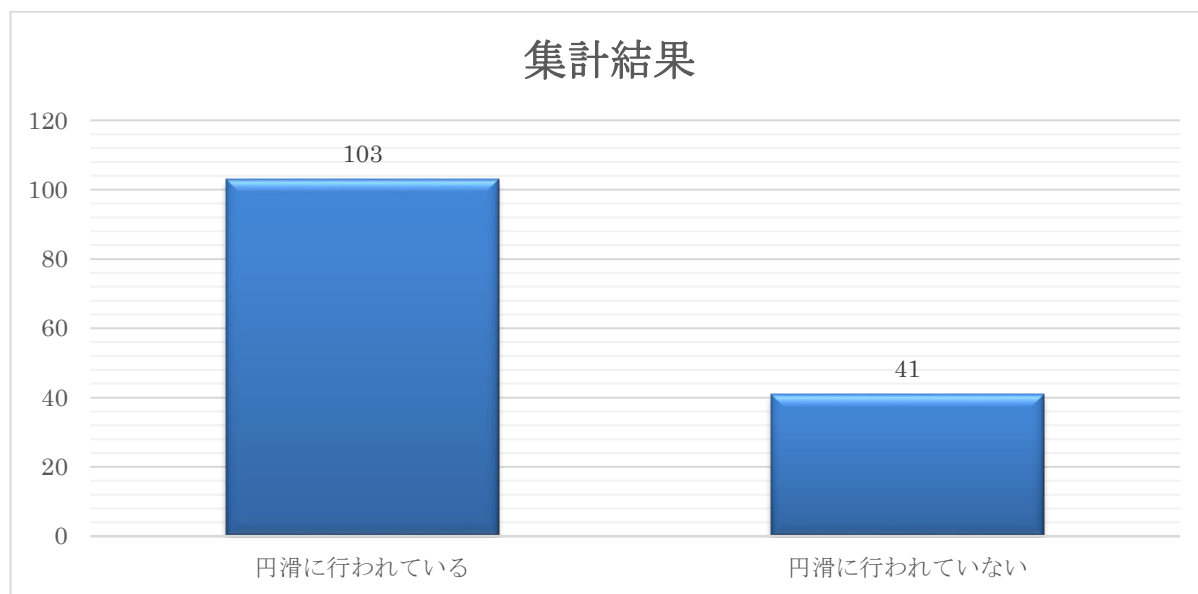
会長報酬の設定については、「10,000 円～14,999 円」の額を報酬として設定している自治会が、1 番多いという結果となりました。

<役員報酬額>



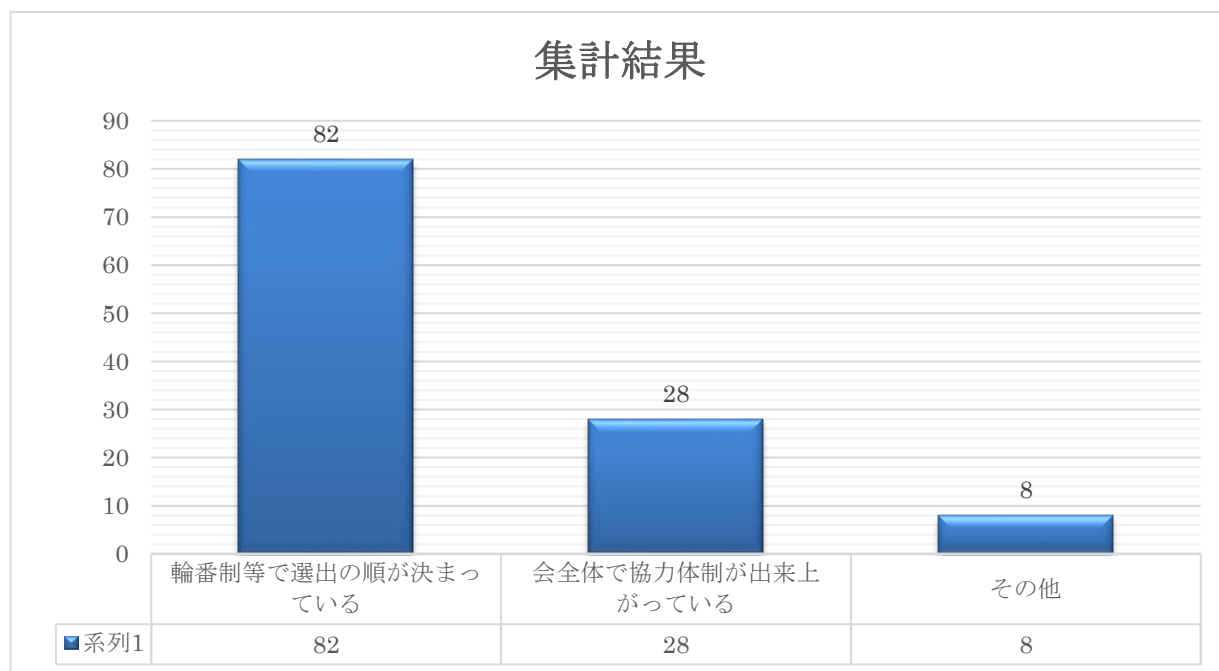
役員報酬の設定については、「5,000 円～9,999 円」と「10,000 円～14,999 円」の額を報酬として設定している自治会が、1 番多いという結果となりました。

⑥会長／役員の選出は円滑に行われていますか。また、その理由について選択してください。



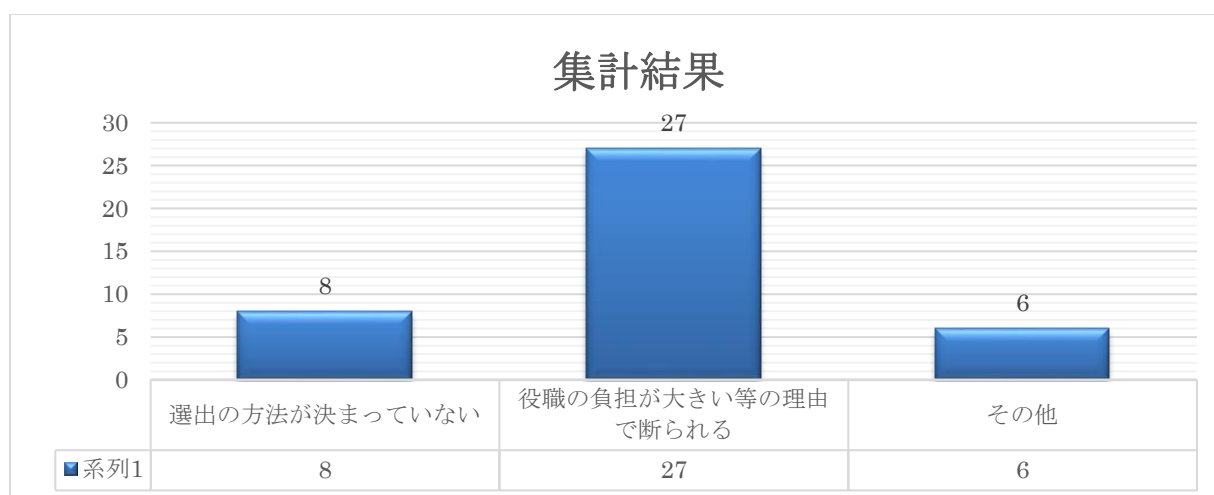
全体の約7割の自治会が、会長／役員の選出が「円滑に行われている」という結果となりました。

＜会長／役員の選出が円滑に行われている理由＞



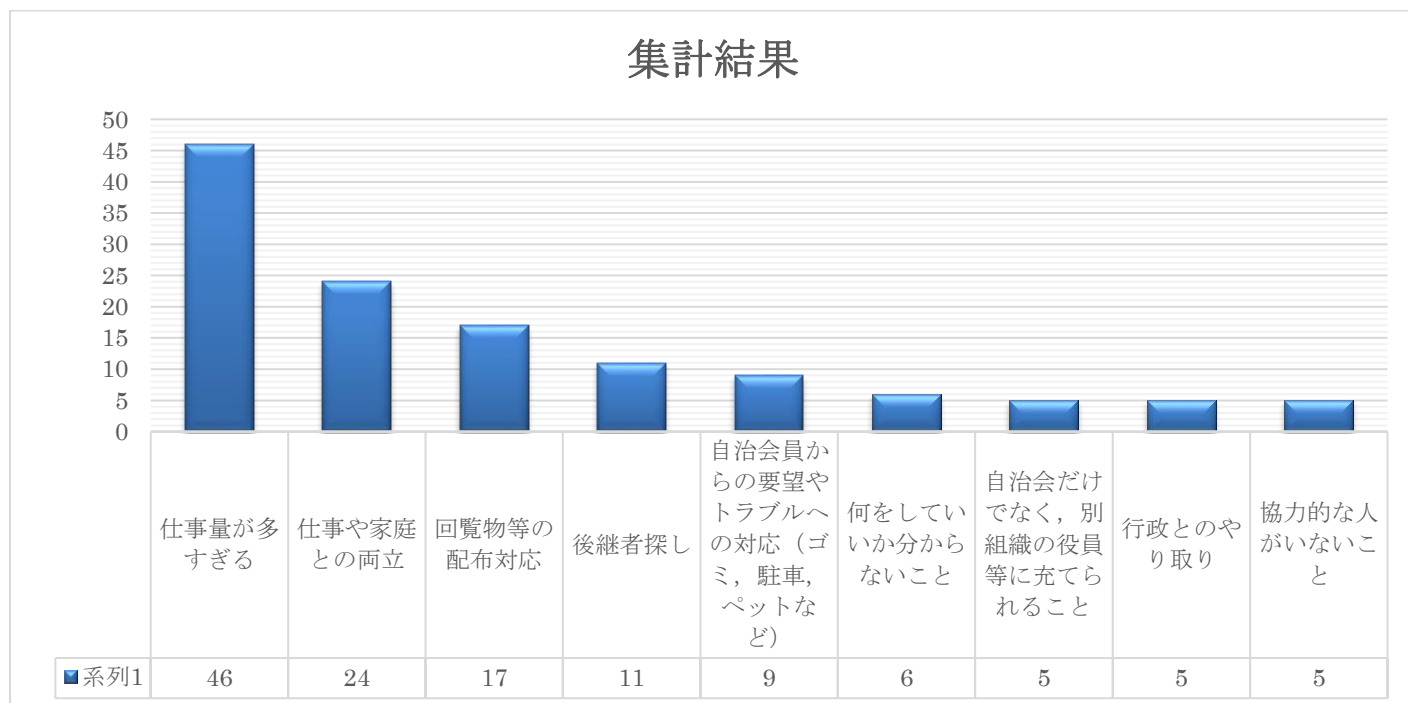
会長／役員の選出が円滑に行われている自治会のうち、全体の約7割の自治会が、「輪番制等で選出の順が決まっている」ためという結果となりました。また、その他としては、「くじ引き」や「協議」、「適任者指名」という理由が挙げられました。

＜会長／役員の選出が円滑に行われていない理由＞



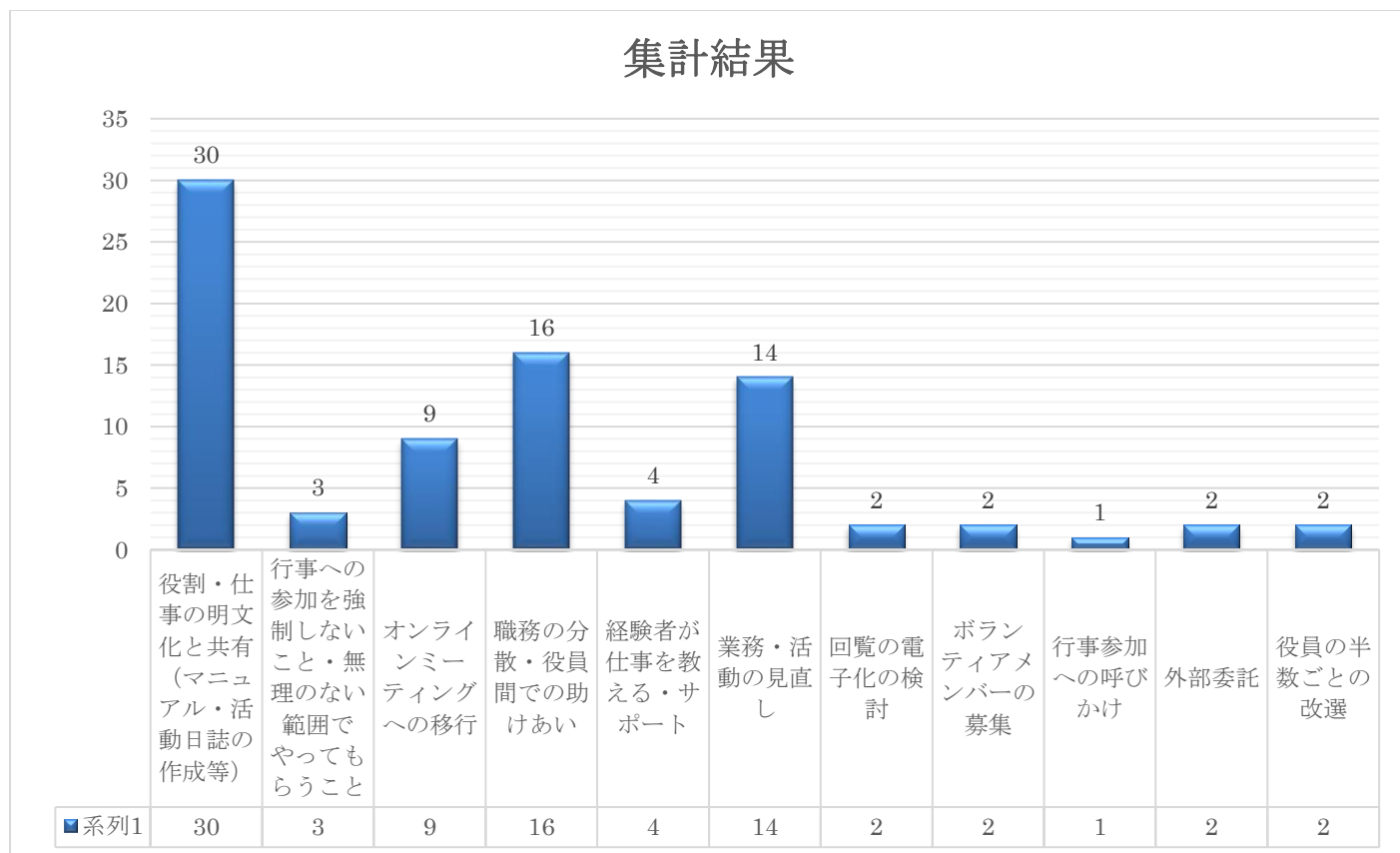
会長／役員の選出が円滑に行われていない自治会のうち、全体の6割以上の自治会が、「役職の負担が大きい等の理由で断られる」という結果となりました。また、その他としては、「人手不足」といった理由が挙げられました。

⑦会長／役員の任において、どのようなことが負担であると感じますか。（複数回答可）



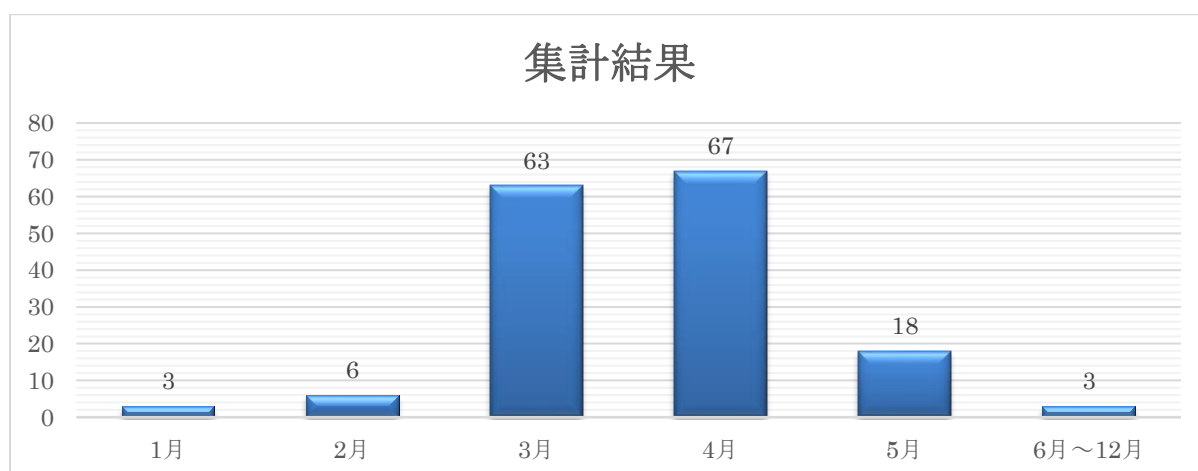
会長／役員の任において、「仕事量が多すぎる」ということを、1番負担に感じているという結果となりました。また、次いで「仕事や家庭との両立」を、負担に感じているという結果となりました。

⑧会長／役員¹の負担を軽減するために、工夫していることはありますか。



会長／役員¹の負担を軽減するために、工夫していることとして、「役割・仕事の明文化と共有」に取り組んでいると回答した自治会が、1番多いという結果となりました。次いで、「職務の分散・役員間での助けあい」、「業務・活動の見直し」という意見が多く挙げられました。

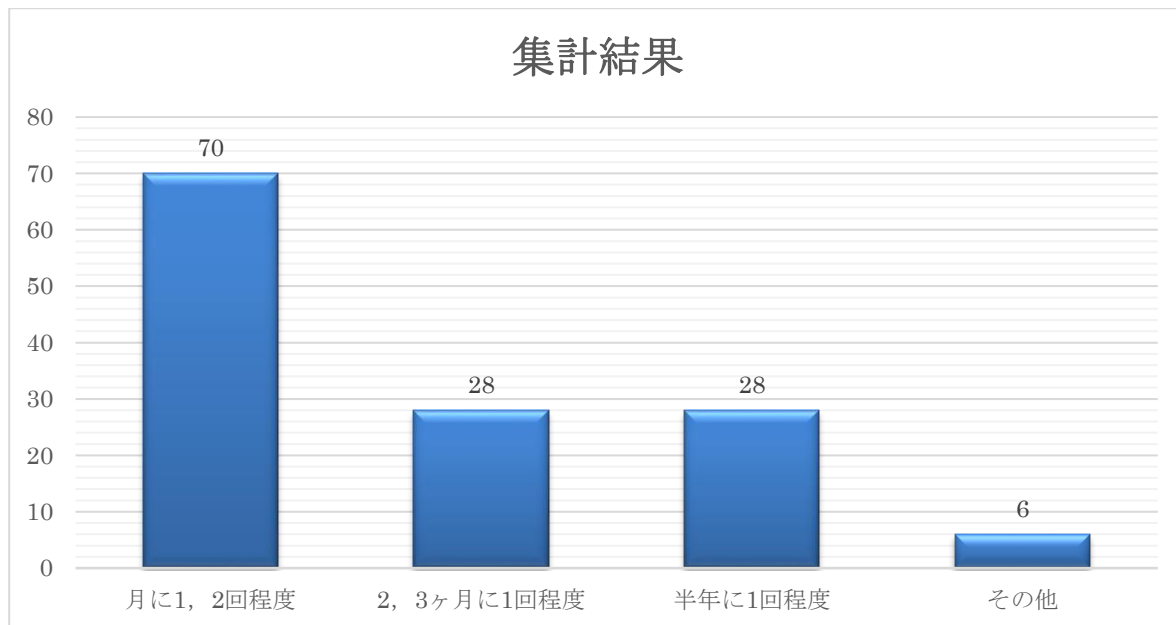
⑨自治会の総会は例年何月頃に行っていますか。



自治会の総会開催時期として、全体の8割以上の自治会が、「3月」または「4月」に行っていると回答しました。

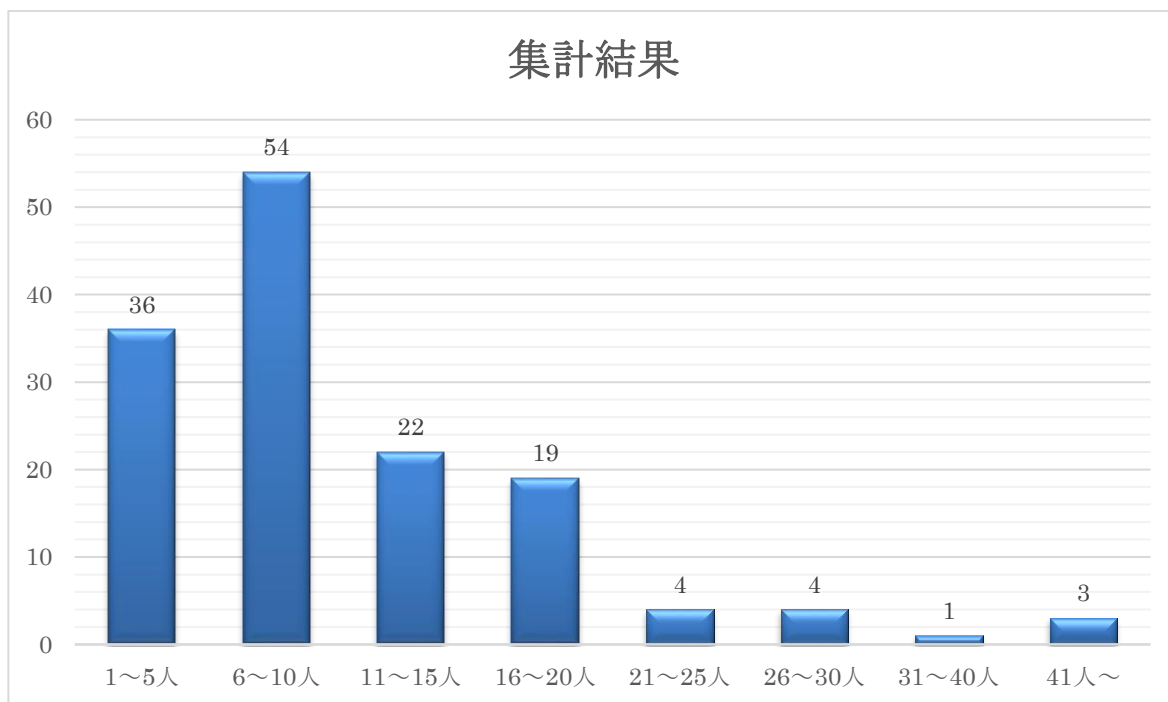
⑩役員会等の会議の頻度，および，平均出席人数を教えてください。

＜会議の頻度＞



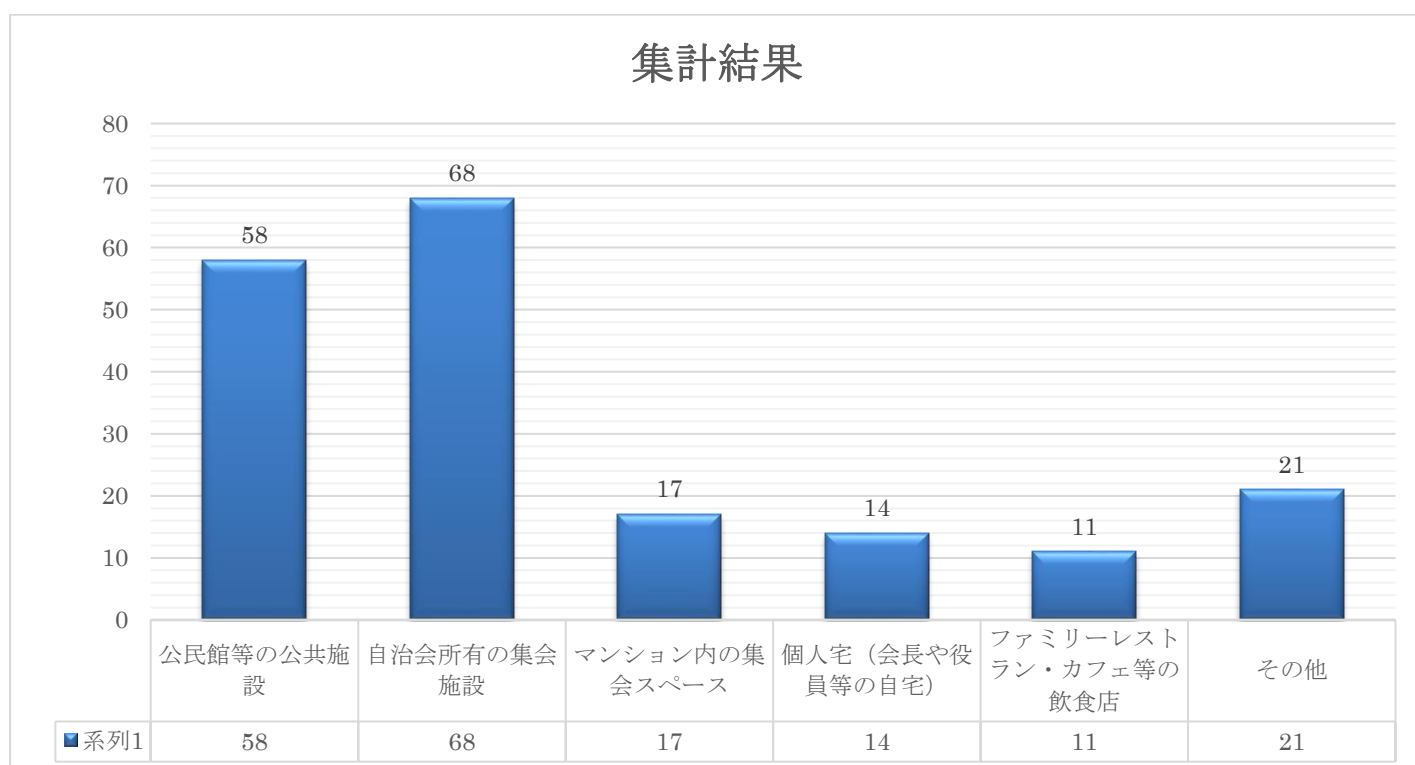
全体の5割以上の自治会が、「月に 1, 2 回程度」役員会等の会議を行っていると回答しました。

＜平均出席人数＞



全体の6割以上の自治会が，役員会等の会議は，「1～5人」または「6～10人」の10人以内で行っていると回答しました。

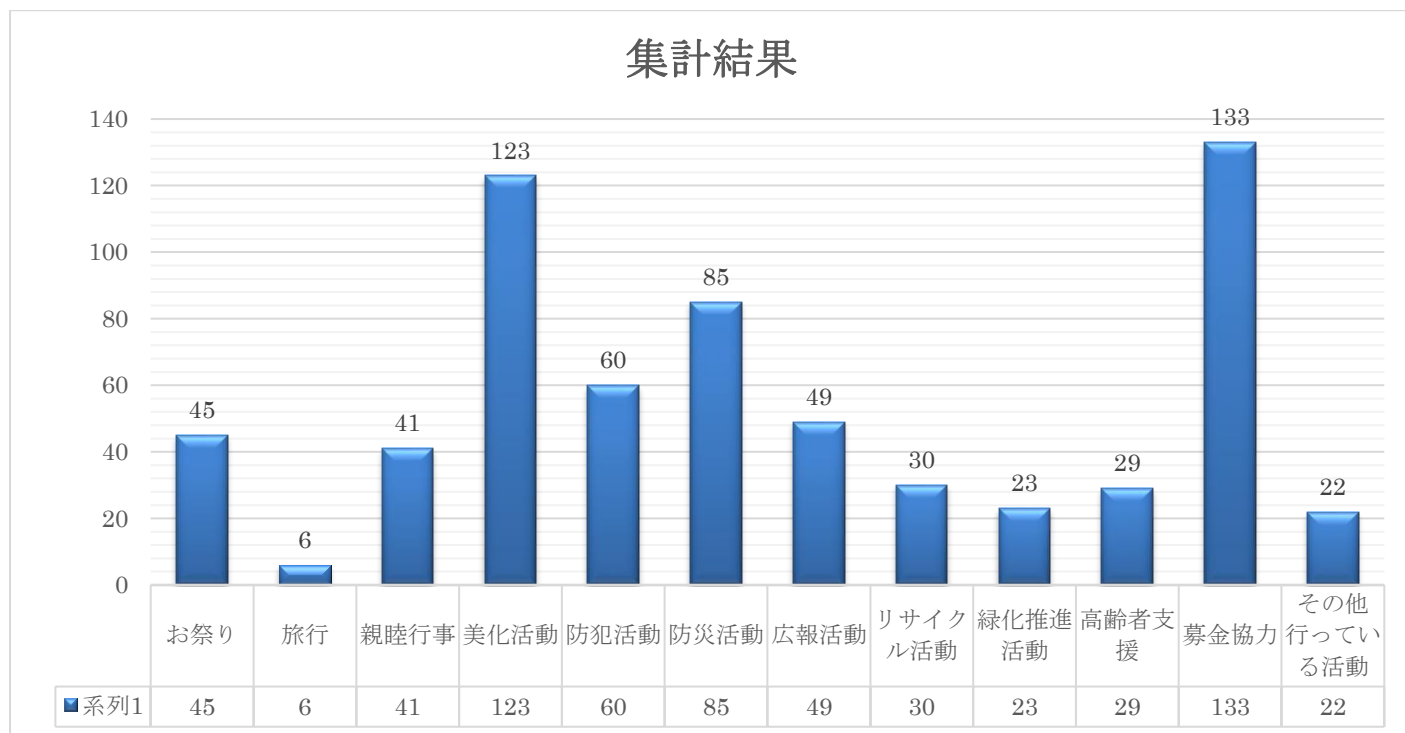
⑪総会や役員会等の会議は、どこで行っていますか。（複数回答可）



総会や役員会等の会議は、「自治会所有の集会施設」を利用していると回答した自治会が1番多いという結果となりました。次いで、「公民館等の公共施設」を利用していると回答した自治会が多くなりました。また、その他としては、「神社」や「大学講堂」、「学校の体育館」、「路上」、「自治会内の公園」等と回答した自治会もあり、会議の規模や参加人数、目的等によって様々な形式で会議が行われていることが分かる結果となりました。

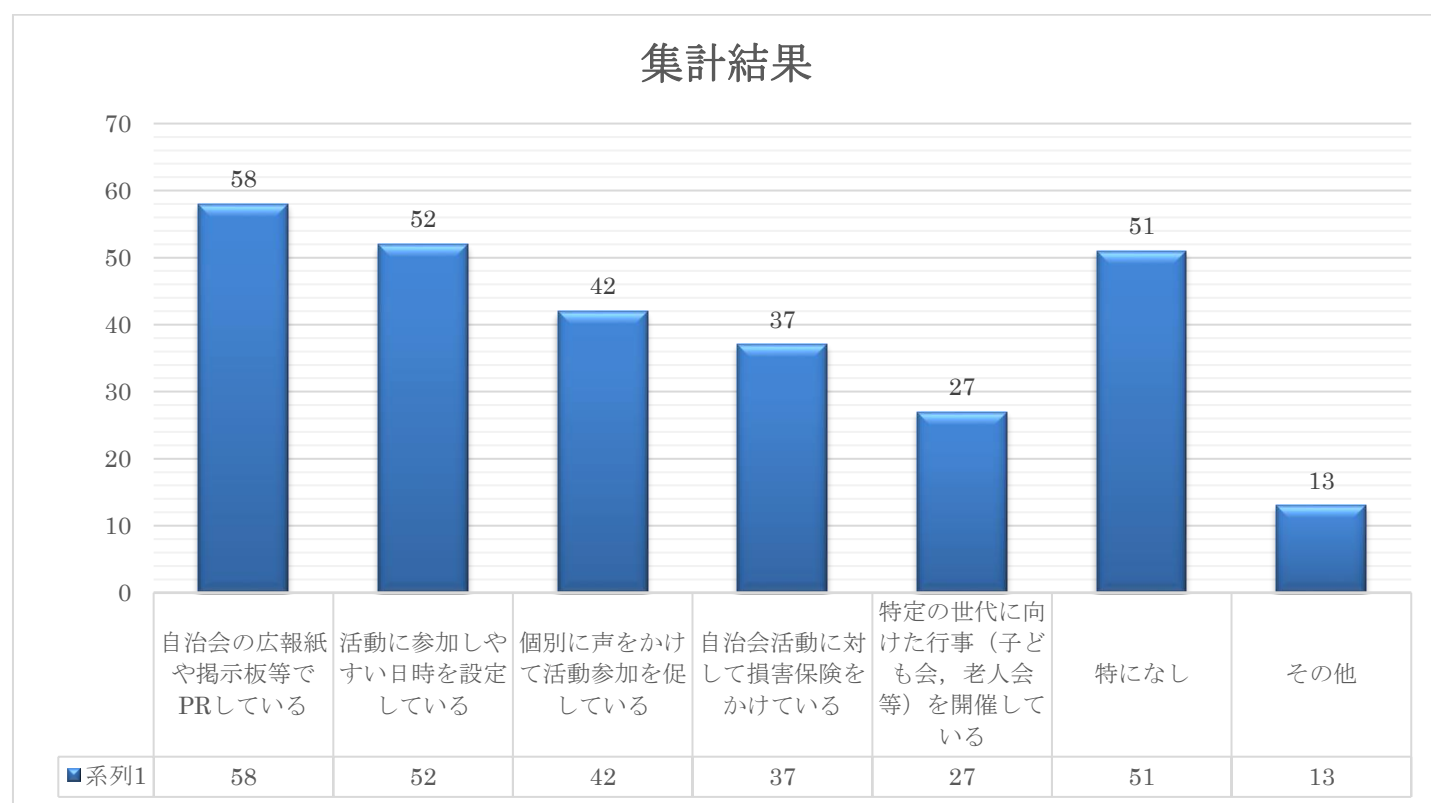
Ⅱ. 自治会活動について

⑫自治会内で実施している活動について教えてください。（複数回答可）



自治会で実施している活動として、「美化活動」、「募金協力」について全体の7割以上の自治会で現在実施しているという結果となりました。自治会活動の目的の1つとして、環境美化活動に力を入れて活動している自治会が多くあり、街が美しく保たれていることは、自治会の皆さんの活動のおかげであるということが実感できる結果となりました。また、近年自然災害が多く発生している影響から「防災活動」について5割以上の自治会で活動が実施されているという結果となり、非常時に備えた自治会の防災意識の高まりがうかがえる結果となりました。他にも、自治会内の若い世代が活動参加しやすいように工夫して、「子育て世代交流会」や「子ども無料塾」等、特定の若い世代向けの行事を実施している自治会もみられました。

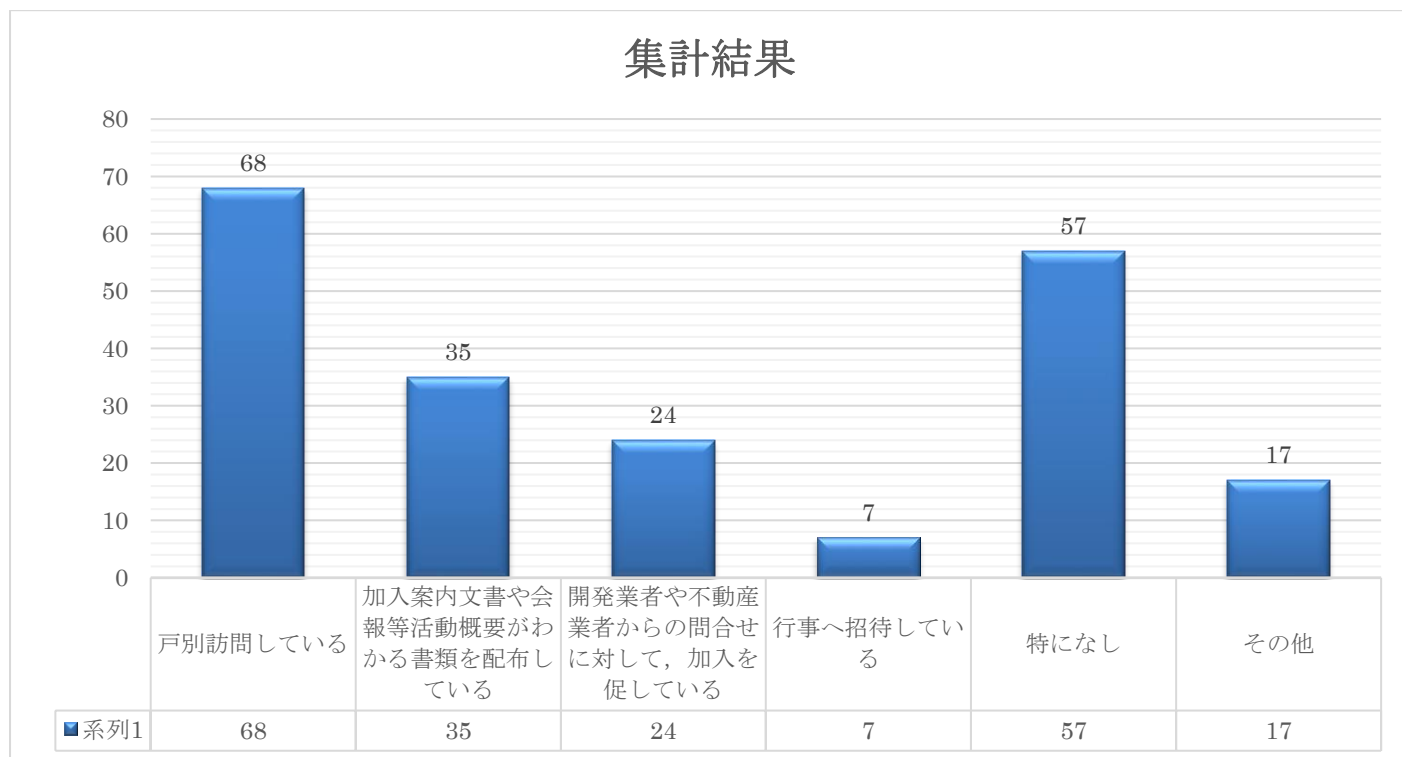
⑬自治会活動への参加者を増やすために、工夫していることはありますか。（複数回答可）



自治会活動への参加者を増やすために工夫していることとして、「自治会の広報紙や掲示板等でPR している」、「活動に参加しやすい日時を設定している」と回答した自治会が、それぞれ全体の3割以上という結果となりました。その他としては、「会長が1軒 1軒呼びかける」や「回覧板や連絡網で参加を呼びかける」、「総会後に催し物を行う」、「家族ぐるみで芋煮会を行う」という声が挙げられました。

Ⅲ. 自治会の加入について

⑭新たに地域に加わった新規世帯や、自治会エリア内に住んでいる未加入世帯の加入を促す際に、工夫していることはありますか。（複数回答可）



新規加入者を増やすために工夫していることはありますかという問では、「戸別訪問している」と回答した自治会が1番多く、次いで「特になし」という結果となりました。その他としては、「イベント時に勧誘している」や「ご近所等からの紹介」という声が挙げられました。

戸別訪問等で会長や役員さんの地道な活動がうかがえる一方、特に何もしていない自治会も多くあるということが分かりました。新しく自治会のエリア内に引っ越されてきた方は、自治会があるのかどうか、その地域でどのようなことが行われているのかを知らない方がほとんどであると思われます。長年その地を気に入って住まわれてきた方と新しくその地を気に入り引っ越されてくる住民同士が良い関係性を築き、平穏な生活を送っていくための懸け橋として自治会という存在が機能していくために、自治会の加入者を増やすとともに自治会の活動を住民の皆さんにとって有意義なものにしていいただければと思います。

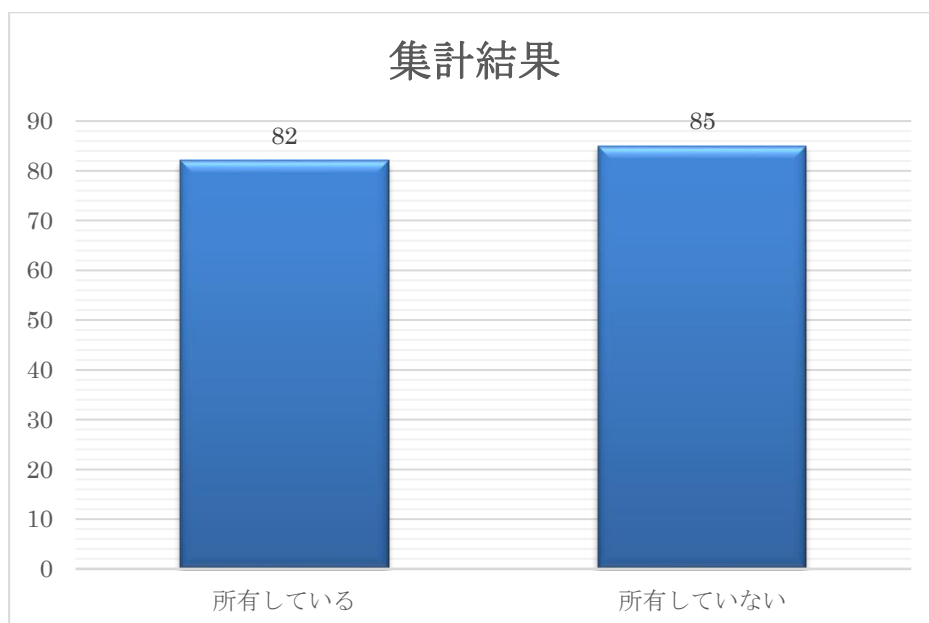
⑮新規世帯や未加入世帯を勧誘するにあたり、ご自身が考える、自治会に加入するメリットや、加入したいと思える魅力的な活動とは何かをお聞かせください。

加入するメリット	魅力的な活動
・タテ、横、斜めのコミュニケーションの幅が広がること ・地域に顔見知りが増え、日常生活が便利になる ・会員同士の交流ができる ・世代を超えた交流ができる ・挨拶ができる ・近隣住民のコミュニティが生成される ・近所付き合いができる ・地域における情報収集や共有が可能であること ・日常生活に必要な情報が入手できる ・近隣の仕出し弁当屋さんの情報を共有している ・困りごと等の相談ができる ・生活上の要求苦情をその都度管理組合と自治会で意見交換できる ・仕事をしている関係で、ほとんどの方々と会うこともなかったが、自治会を通して交流が生まれることは非常に良いこと ・一斉清掃や防災訓練等の活動を通して交流の場が広がる ・子どもを見守ってもらえる ・防犯パトロール ・交通安全対策を進められる ・災害時の協力の円滑化、助けあい ・非常時災害時に共助を効果的に行えるよう、ご近所の交流を図り、地域のつながり感を醸成できること ・災害時に顔がみえるコミュニティ作りのイベントに参加できる（世代別・全体） ・震災時の在宅避難の方法や備蓄等の情報を共有できる ・災害発生時に孤立無援にならない ・災害時に防災倉庫の備蓄品を利用できる ・災害が発生した場合に、自治会加入者が優先的に配布されるものがある ・若い方たちへの子ども支援等がある ・子どもたち対象のイベントがある ・子どもから高齢者までの楽しめる行事に参加できること ・自治会内の夏祭りの際に食券提供がされる ・市の行事、サービス、町会の行事が把握できる ・ごみ置き場の管理がされ、ごみの出し方がわかる ・自治会内のごみ置き場を気持ちよく利用できる	・団体割を利用したレジャー ・会員の仕事を活かしたサービス紹介 ・自治会が栽培している新鮮な野菜を無料で収穫できる ・自治会館の庭で移動スーパーが開催できないか準備中 ・高齢者世代による新規移住者の子どもへの見守り ・有償ボランティア ・居住者の高齢化に伴い、お助け隊のような活動ができれば良い ・高齢班長のサポート制度 ・交通危険箇所の指摘及び対策 ・防犯パトロール ・ごみ集積場所の清掃管理 ・ごみゼロ運動、一斉清掃 ・草むしり会 ・ごみ拾い会 ・年3回の清掃活動での会員同士のコミュニケーション及び災害時の共助の協力 ・防災活動（安否確認訓練、防災講習、炊き出し訓練、防災倉庫備蓄品棚卸、非常用発電機のデモンストレーション訓練等） ・災害等に備えた「ご近所力」の向上に向けた親睦会、懇親会 ・お祭り ・芋ほり ・いちご狩り ・音楽鑑賞会 ・園遊会 ・町会クイズ ・餅つき、餅持ち帰り大会 ・ひな祭り ・歩こう会 ・抽選会 ・ゴルフ、パークゴルフ、Nゲージ等の各種サークル活動 ・サロン ・神社の運営

• きれいなまちづくりができる • 住みやすい環境づくりができる • 年末清掃時にお弁当や飲み物の配布がある • 資源回収 • 美化活動や会員が必要としている情報を管理組合と共同で実施 • 自治会館を安価に利用できる • 自治会の所有している施設の使用ができること • 自治会へ自分の声を反映できる • 行政に対する組織的（単位）での申し入れが可能であること • 自治会による整備，市に要望して実現した安心・安全なインフラの利用（防犯灯，消火器，道路，公園整備等）	
---	--

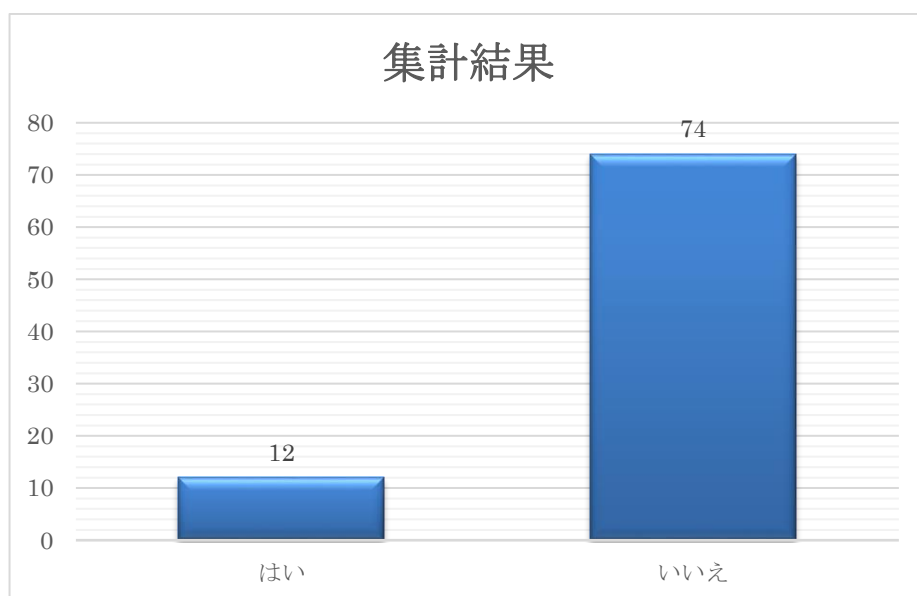
IV. 自治会の所有する施設について

⑩集会施設を所有していますか。



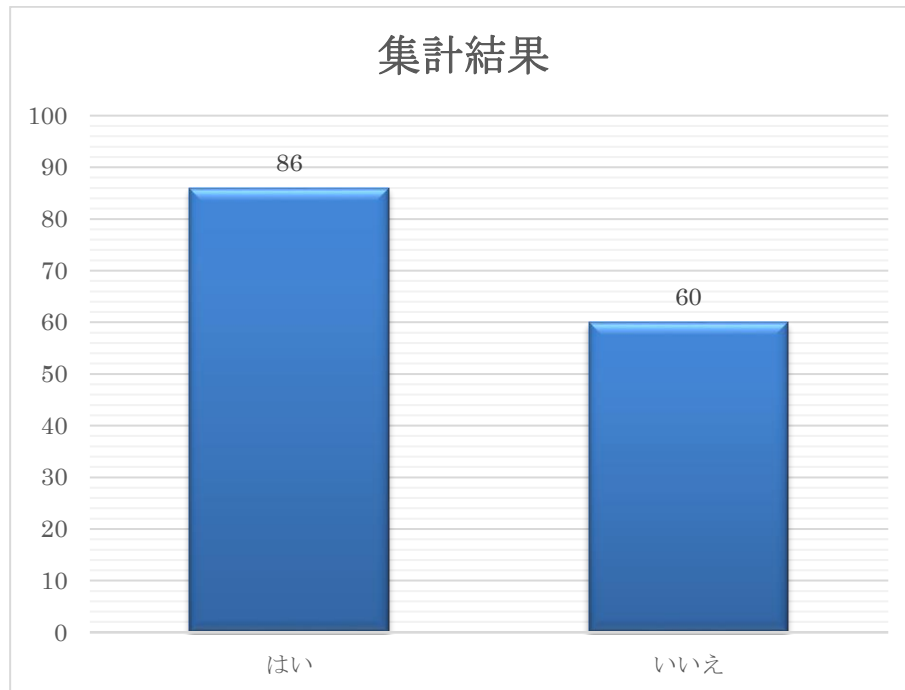
全体の5割以上の自治会が、集会施設を「所有していない」という結果となりました。

⑪集会施設を所有したいと考えていますか。



現在、集会施設を所有していない自治会の中で、集会施設を「所有したいと考えている自治会」は、全体の約1割程度という結果となりました。

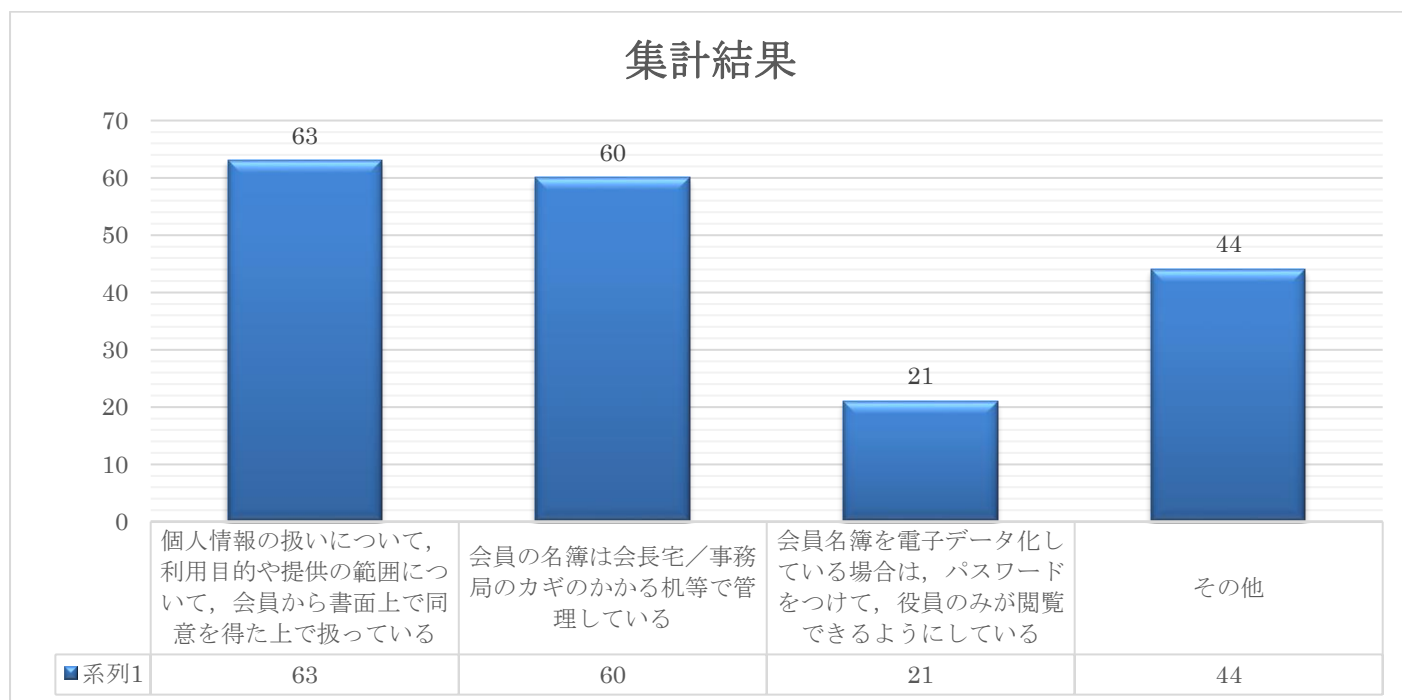
⑮防災倉庫を所有していますか。



防災倉庫を「所有している」と回答した自治会は、全体の約 6 割という結果となりました。

V. 自治会の運営について

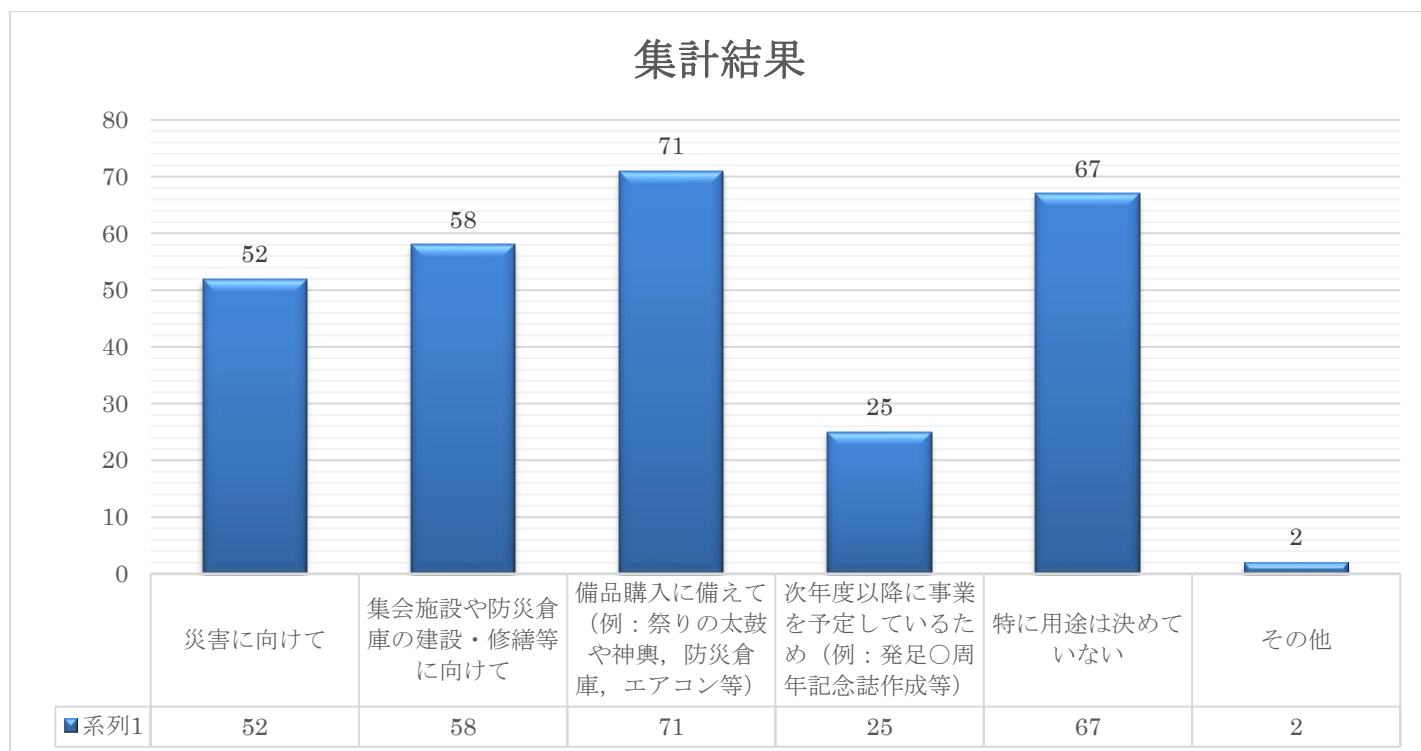
⑭個人情報保護の観点から、自治会の会員名簿を管理するうえで気をつけていることはありますか。（複数回答可）



「個人情報の扱いについて、利用目的や提供の範囲について、会員から書面上で同意を得た上で扱っている」や「会員の名簿は会長宅／事務局のカギのかかる机等で管理している」という回答が並んで多いという結果となりました。その他としては、「役員が管理」、「役員以外に開示しない」、「口頭で同意を得ている」等が挙げられました。また、「空き家情報については名簿に載せない」として防犯上の対策を行っている自治会や「緊急時に備えて細かい名簿の作成を検討している」自治会等、いつなにか起こるかわからない「もしもの場合」に備えて自治会員同士で助け合える体制を、日頃から構築しようとしている自治会があることが分かりました。

平成27年9月に「改正個人情報保護法」が成立し、平成29年5月30日に全面施行されたことに伴い、自治会等の非営利組織も個人情報保護法が適用されるようになったことから、会員の個人情報の取り扱いにつきましては、事前に利用目的を提示し、同意（書面等）の範囲内で使用してください。また、収集した個人情報の漏洩を防ぐため、適正に管理することをお願いします。

②⑩繰越金の使用用途を教えてください。（複数回答可）



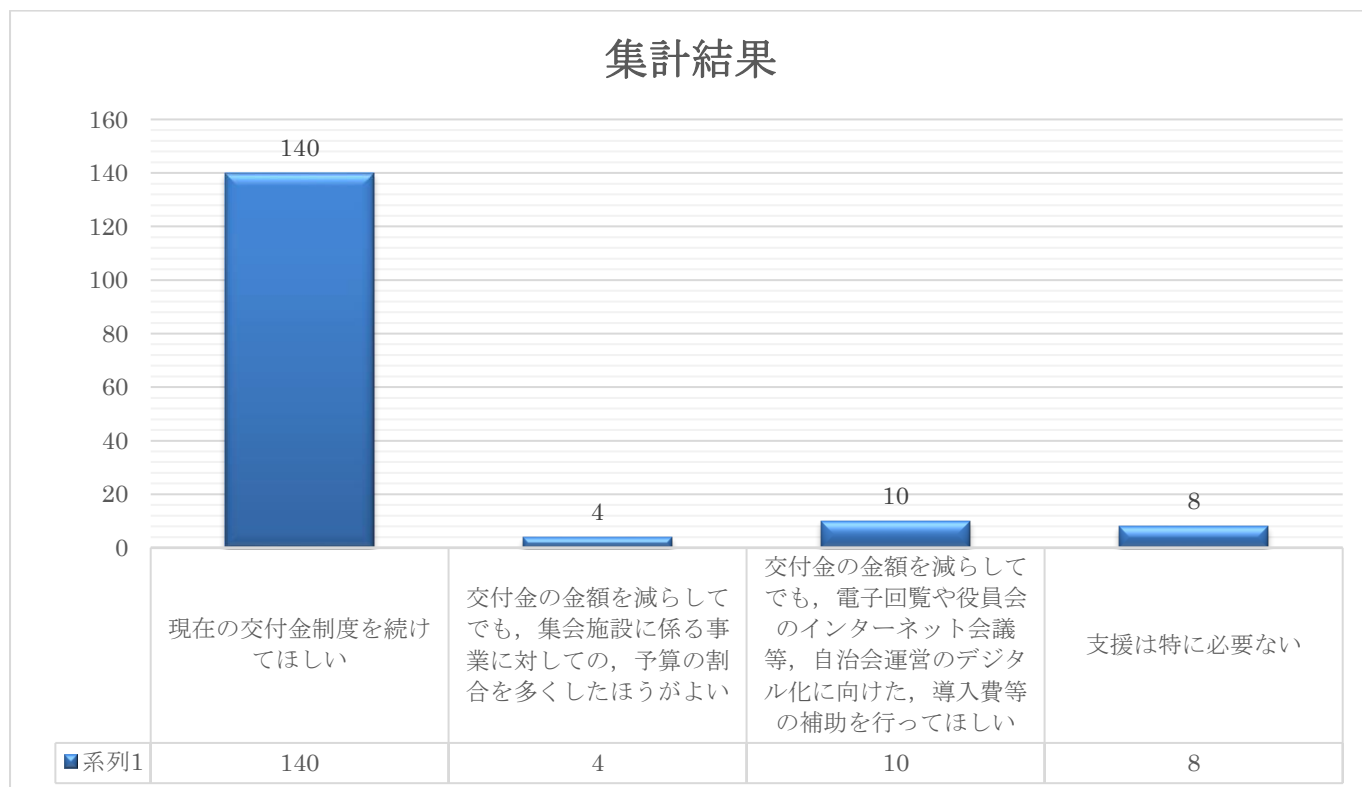
繰越金の使用用途については、「備品購入に備えて」という意見が1番多いという結果となりました。次いで「特に用途は決めていない」、「集会施設や防災倉庫の建設・修繕等に向けて」、「災害に向けて」、「次年度以降に事業を予定しているため」という意見が続きました。

備品購入の具体例としては、「外灯・ゴミステーション備品の補修更新」、「防犯カメラ設置」、「共有パソコンの購入」等が挙げられました。

また、「特に用途は決めていない」と回答した自治会が全体の約4割程度あるという結果となりました。

②ここ数年、新型コロナウイルスの蔓延等の影響を受け、多くの自治会で運営等の見直しが行われたことかと思います。

今後、限られた予算の中で、市が自治会にどのような支援を行っていくかを考えるため、ご意見をお聞かせください。（1つだけ回答）

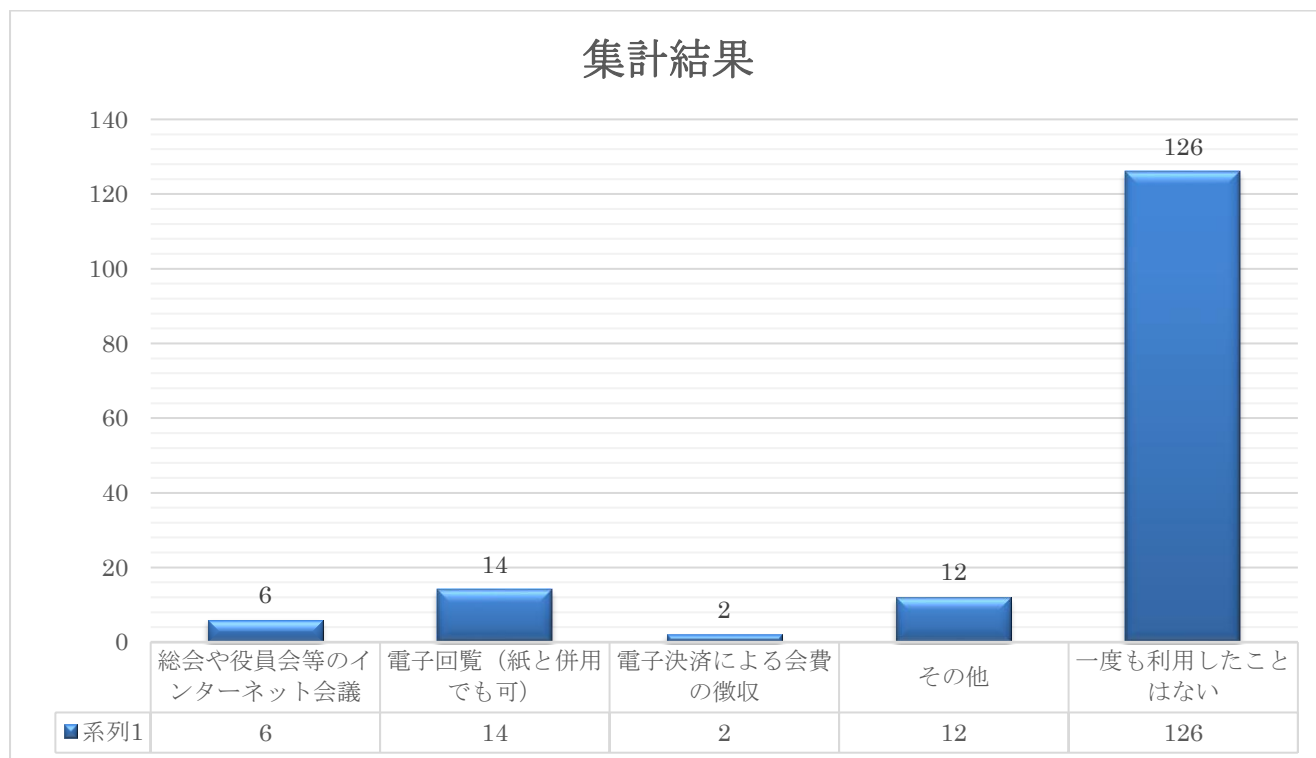


市から自治会への支援については、「現在の交付金制度を続けてほしい」という自治会が、8割以上であるという結果となりました。

次いで、「交付金の金額を減らしても、電子回覧や役員会のインターネット会議等、自治会運営のデジタル化に向けた、導入費等の補助を行ってほしい」という意見もあり、自治会活動の見直しや効率化を図る中で、デジタル化に興味を持っている自治会も一部あるということが分かる結果となりました。

VI. 自治会運営のデジタル化について

②自治会内において、PC やスマートフォンを利用して、行ったことがあるデジタル化の取組を下記より選択してください。（複数回答可）



自治会内でのデジタル化の取組については、「一度も利用したことはない」と回答した自治会が全体の7割以上という結果となりました。一部の自治会においては、「電子回覧」や「総会や役員会等のインターネット会議」、「電子決済による会費の徴収」を導入していることが分かりました。その他としては、「自治会 HP」や「LINE によるコミュニケーション」という意見も挙げられました。

②③それぞれ、どのようなツール・アプリを利用していますか。

また、費用はいくらですか。（複数回答可）

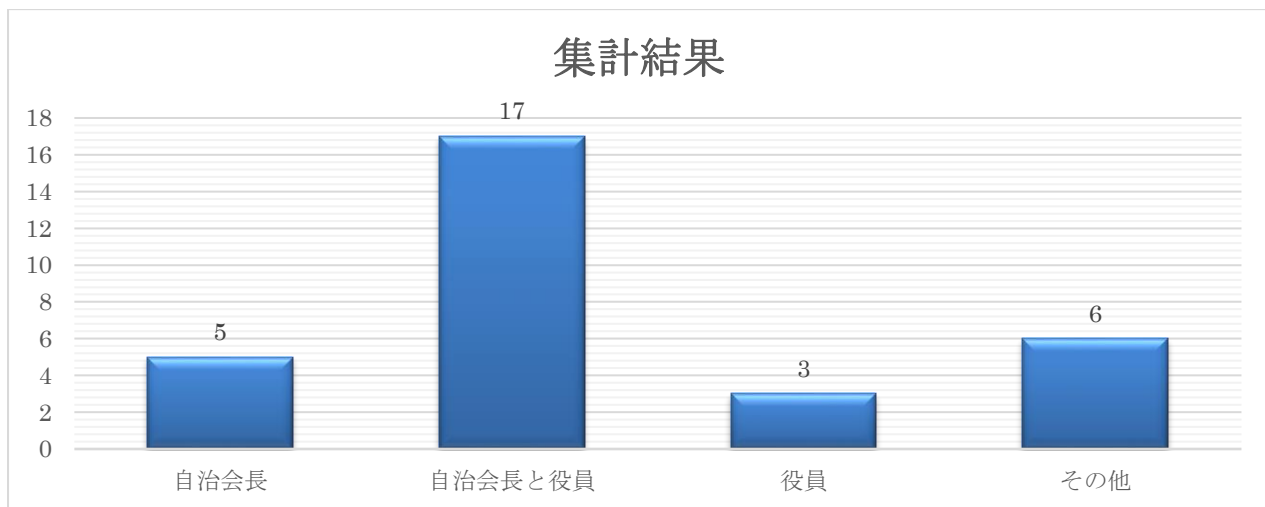
②④利用しようと考えたきっかけは何ですか。

ツール・アプリ	費用	利用するきっかけ、良かったこと
LINE	無料	・集まりを減らし情報共有の為 ・利便性 ・役員がスマホを利用できたから ・出席できない人のため ・急な情報交換が必要な時のため ・共働きが増えて連絡調整が難しくなったため ・時間と場所にとらわれないコミュニケーションができること ・役員間の相談事や依頼事項、日程調整がいつでも行える ・役員間で一斉に同じ条件を確認できる ・ペーパーレス化 ・回覧のスピードアップ ・回覧負担の減少
LINE 公式アカウント（コミュニケーションプラン）	無料	
LINEworks	無料	・無料だったため
BAND	無料	・合理化、省力化、効率化、参加し易さ向上
Google Drive	個人払いの通信料	・時短、即決事項の処理
NISUMU	不明	・集会に時間をとられないように ・管理組合結成時より業者側より提供
ZOOM	無料	・コロナで集会施設が利用できなかった為 ・令和、デジタル社会
HP	不明	・若年層へのアピール ・令和、デジタル社会
Facebook	不明	・若年層へのアピール ・令和、デジタル社会
X	不明	・令和、デジタル社会
メール	無料	・回覧の円滑化 ・ペーパーレス化
らくらく連絡網	無料	・自治会回覧や情報伝達を円滑にするため
デジタル回覧板(株)クレア ンスメアード	無料	・回覧の遅滞改善 ・いつでも何度でも読めるように ・衛生面での改善
銀行での自動振替	不明	・銀行に書面での提出が不要になる
PayPay, 楽天 Pay の送金	無料	・合理化、省力化、効率化
会費徴収を委託	徴収金額に2%程度	・令和、デジタル社会

②⑤実際に導入してみて、良かったことや困ったことはありましたか。

良かったこと	困ったこと
• 仕事の都合や休日の予定がある中、日頃からLINE で連絡を取り合う方がコミュニケーションがスムーズ • 集まる回数が減った • 話し合いや細かい情報が伝わった • 導入が容易 • 作業が効率的であること • 役員それぞれがいつでもどこでも確認できる • 調整がしやすい • 会員に一斉に情報を伝達できる • 急な決議も集まらなくて採決できる • ペーパーレス • 応答があり見ていることがわかる • 役員間の連絡調整が円滑化	• 入っていない方がいた • 高齢者が難しい • メールアドレスを共有したが情報が届かなかった • オペレーションでできる人が限定される • 登録していない方へ個別対応しなくてはならない • メールを見ない世帯には内容が伝わらない • どこまで周知されているか分かりにくい • PC を持っていない役員がいる

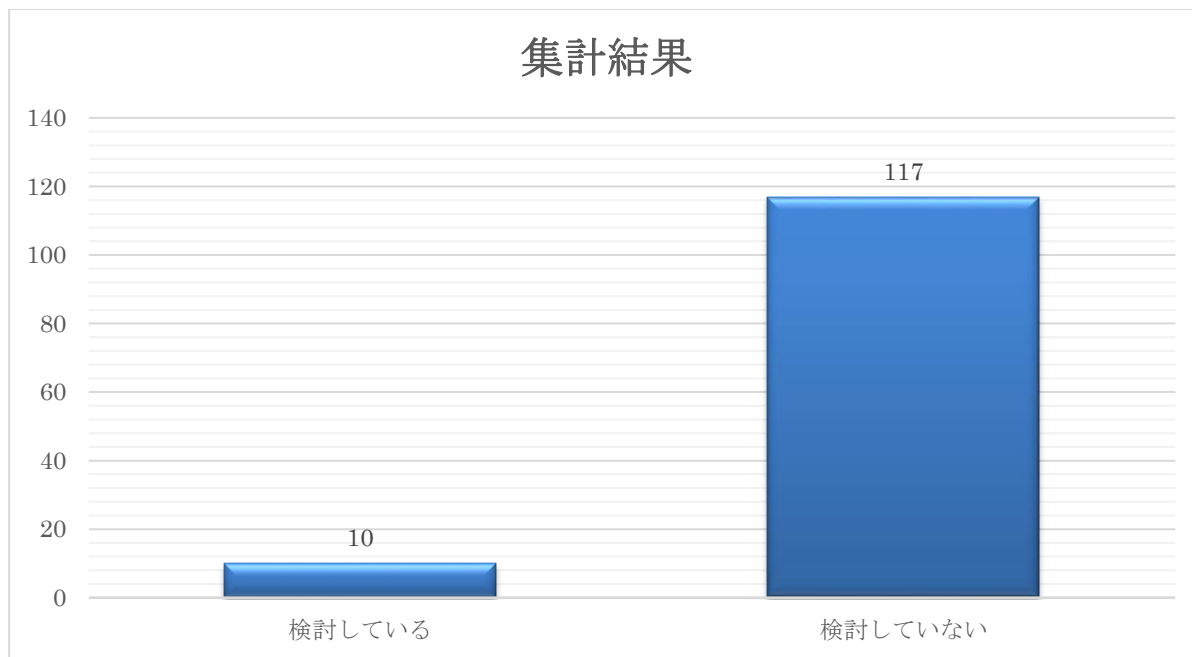
②⑥導入後の管理や運営は、誰が行っていますか。



デジタルツール導入後の管理については、「自治会長と役員」で行っているという意見が1番多く挙げられました。その他としては、「事務員」、「ルールを定めていない」という意見が挙げられました。

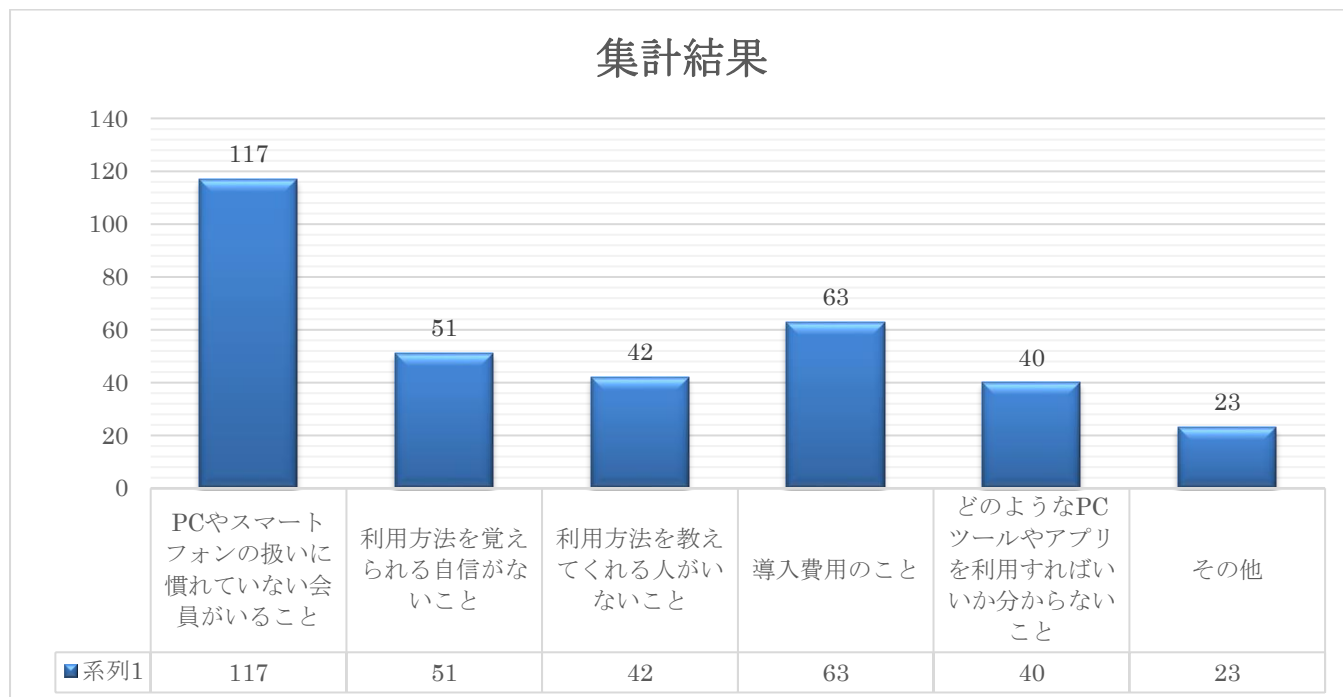
また、②⑤の質問の回答で挙げられたように「オペレーションでできる人が限られる」という声がありました。自治会内でデジタル化を図るにあたり、デジタル担当大臣のような新たな役員の設置や自治会内でデジタル系を得意とする人材の発掘を行うことで、自治会運営に新たな担い手を取り込んでいく好機とも考えられるのではないのでしょうか。

⑳電子回覧やインターネット会議の導入を検討していますか。（複数回答可）



電子回覧やインターネット会議導入の検討状況については、全体の9割以上の自治会が、「検討していない」という結果となりました。

⑳自治会内で、電子回覧やインターネット会議等を利用しようという話があった場合、どのような課題を感じますか。（複数回答可）



自治会運営デジタル化への課題については、「PC やスマートフォンの扱いに慣れていない会員がいること」という回答が1番多いという結果となりました。その他としては、「小さいコミュニティだから必要ない」、「問題に上がってこない」、「未だガラケー」等が挙げられました。

㉑令和5年度より、コミュニティ推進課のホームページに、広範囲の自治会に関わる内容の回覧物のPDFデータを掲載していますが、活用していますか。



VII. 最後に

③現在の自治会運営の中で、困っていることを（ ）内に1～7の順に優先順位を記入してください。

- ・会員の高齢化 ・人材育成 ・加入率低下 ・後継者不足
- ・財源不足 ・自治会運営のデジタル化 ・その他 ・困っていることはない

<集計結果>

- 1位 会員の高齢化
- 2位 後継者不足
- 3位 人材育成
- 4位 加入率低下
- 5位（同率） 財源不足
- 5位（同率） 自治会運営のデジタル化
- 7位 その他

自治会の困りごととして、「会員の高齢化」が1位となりました。2位から4位までの困りごとと併せて考えてみると、自治会全体の人材不足がうかがえる結果となりました。自治会運営の困りごととして、その他として挙げられた意見を以下まとめて紹介します。

- ・会員の自治会への関心が希薄
- ・役職の負担が大きい
- ・現役で働いているので時間が取れないこと
- ・会員への加入メリットが不足していること
- ・外部諸団体からの回覧依頼がバラバラであること
- ・ごみの不法投棄への対処
- ・地震災害時の対応
- ・市が自治会を育てる意識がなさすぎること

等が挙げられました。

今回、アンケート調査にご回答いただいた自治会の皆様、ご多用の中、ご協力いただきありがとうございました。調査結果については、今後の自治会支援の研究に役立てて参りますとともに、自治会の皆様にも今後の自治会活動にお役立ていただければ幸いです。

**令和 6 年度
自治会活動・自治会運営に関する調査の結果**

発行日／令和 6 年 1 1 月

発行／八千代市

編集／総務部コミュニティ推進課

住所／〒276-8501

千葉県八千代市大和田新田 312-5

TEL／047-421-6718

FAX／047-484-8824

URL／<http://www.city.yachiyo.chiba.jp>

E-mail／community1@city.yachiyo.chiba.jp